

FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

※BX2560 M1/BX2580 M1 の樹系図については、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>)をご参照ください。

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS	Windows
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD	
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF	
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE	
Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	WSS12RS	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Ex64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 10 Home (32-bit/64-bit)	W10H	
Windows® 10 Pro (32-bit/64-bit)	W10P	
Windows® 10 Enterprise (32-bit/64-bit)	W10EN	
Windows® 10 Education (32-bit/64-bit)	W10ED	
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1	
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P	
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E	
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8	
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P	
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U	
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	Linux
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.0)	vS6.0	VMware
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.5)	vS5.5	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.1)	vS5.1	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	vS5.0	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	vS4.1	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	vS4.0	

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について

ServerView Operations Manager、ServerView Agents、ServerView ESXi CIM Providerは、ServerView Suite(SVS)に格納されているサーバ監視・管理ソフトウェア(標準添付)です。ServerView Operations Managerは、ServerView Agents、ServerView ESXi CIM Provider、リモートマネージメントコントローラ (iRMC S4)を使用する環境に応じ、組合せて使用することにより、以下の機能を実現します。

[管理サーバ用マネージャソフト]

ソフトウェア名称			ServerView Operations Manager[SVOM] (*1)		
OS			Windows/Linux/XenServer	VMware ESXi 5.x/6.0 (*2)(*3)(*4)(*5)(*6)	OS依存なし (*5)
監視対象サーバ用エージェント			ServerView Agents	ServerView ESXi CIM Provider	~ (リモートマネージメントコントローラ[iRMC S4]) (*7)
主な機能	サーバ状態監視	方法	○ (SNMP経由)	○ (CIM経由)	○ (SNMP経由)
		CPU	○	○	○
		メモリ	○	○	○
		電源/FAN	○	○	○
		PCIカード	○	○	x
		ストレージ	○	○	○ (*8)
		RAID構成	○	○	○ (*8)
		アラームの受信/表示	○	○	○
	受信したアラームによるアクションの実行 -インターネットメールの送信 -SNMPトラップ転送 -メッセージポップアップの表示 (*9) -プログラムの実行 -イベントログ記録 -ブロードキャスト送信		○	○	○
		監視対象サーバの設定 -ASR(自動復旧機能) -ウォッチドッグ設定 -リモートマネージメントコントローラの設定	○	○	○
		パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	○	x	x
		しきい値監視	○	x	x
		消費電力監視	○	x	x
		リモート電源管理	○	x	○
		リモート通報サービス (*10)	○	○	○ (*11)

○:可能、x:不可

- (*1) Windows/Linuxが動作する(ゲストOSでも可)管理サーバを準備してください(VMware上では、動作不可)。
(*2) VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>)内、VMware 留意事項をご確認ください。
(*3) ServerView Resource Orchestrator(以下、ROR)にてVMware ESXiを管理対象とする方法については、RORのマニュアル「設計ガイド」→「ServerView Operations Managerの設定(VMware ESXi)」必ずご参照ください。
(*4) 設定可能なASR機能は、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ機能のみです。
また設定を行う場合、ServerView ESXi CIM Providerは、バージョンV6.00.04以降、SVOMはバージョンV6.00.07以降をお使いください。
(*5) VMwareのサーバ監視・管理においては、リモートマネージメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を推奨いたします。
システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。
(*6) ServerView ESXi CIM Providerを使った監視の場合、ESXi上で利用可能なリソースに制約があり、問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明にいたらない場合があります。
回避策として CIM Provider の再インストール、もしくは定期的な手動での再起動をお願いする場合がございますので、ご了承願います。
(*7) SVOMのバージョンはV7.00.05以降、監視対象サーバのiRMCファームウェアはV7.68F以降をお使いください。
(*8) 使用するストレージコントローラにより、内蔵ストレージの稼働状態およびRAID状態の監視範囲が異なります。
詳細については、留意事項欄の「iRMC(リモートマネージメントコントローラ)関連」をご確認ください。
(*9) サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。また、イベントログにて発生を確認することができます。
(*10) リモート通報サービスを行う場合、SVOMはバージョンV5.50.9以降をお使いください。
(*11) リモート通報は、SVOMを経由せずiRMCから直接行われます。ブレードサーバ及びiRMC S4非搭載機は対象外です。

・リモートマネージメントコントローラ[iRMC S4]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■当社ホームページ:

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →
「ServerView Suiteのマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

[監視対象サーバ用エージェントソフト]

ソフトウェア名称		ServerView Agents	ServerView ESXi CIM Provider (*1)	~ (リモートマネージメントコントローラ[iRMC S4]) (*2)
OS		Windows/Linux/XenServer	VMware ESXi 5.x/6.0 (*3)(*4)(*5)	OS依存なし (*4)
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供	○ (SNMP経由)	○ (CIM経由)	○ (SNMP経由)
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	○	○	○
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	○	x	x
	OSのシャットダウン処理	○	x	○ (*6)

○:可能、x:不可

- (*1) 留意事項やインストール手順につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>) 内、VMware留意事項をご確認ください。
(*2) リモートマネージメントコントローラは標準搭載のハードウェアです。
(*3) ServerView Resource Orchestrator(以下、ROR)にてVMware ESXiを管理対象とする方法については、RORのマニュアル「設計ガイド」→「ServerView Operations Managerの設定(VMware ESXi)」をご確認ください。
(*4) VMwareのサーバ監視・管理においては、リモートマネージメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を推奨いたします。
システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。
(*5) ServerView ESXi CIM Providerを使った監視の場合、ESXi上で利用可能なリソースに制約があり、問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明にいたらない場合があります。
回避策として CIM Provider の再インストール、もしくは定期的な手動での再起動をお願いする場合がございますので、ご了承願います。
(*6) 監視対象サーバ上のOSにServerView Agentless Serviceをインストールする必要があります。また、ServerView Agentless ServiceのサポートOSはWindows(64bit)/Linux(64bit)のみとなります。

・リモートマネージメントコントローラ[iRMC S4]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■当社ホームページ:

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →
「ServerView Suiteのマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

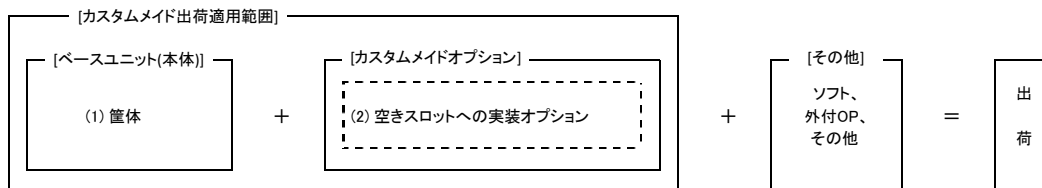
ウイルス対策について

- PRIMERGYを安定してご使用いただくため、ウイルス対策の導入を強くおすすめします。
- ウイルス対策はお客様ご自身の責任において行ってください。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU／メモリ／ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模／予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

- カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1)ベースユニット(本体)

PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40 S2/JX60/PRIMERGY SX05 S1)が対象となります。

(2)カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

- カスタムメイド出荷における注意事項について
出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。
カスタムメイド手配時にはご注意ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

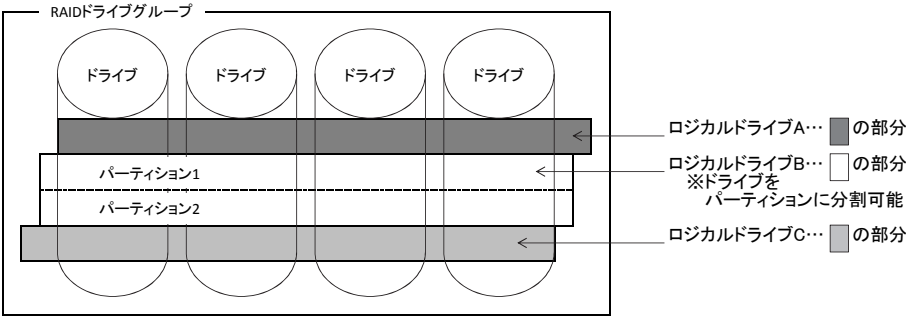
内蔵ストレージ関連事項

セクターサイズが512eのHDDについて

- (1) HDDは製品により、セクターサイズ「512n」「512e」のものが存在します。
詳細につきましては、当社ホームページ(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/hdd_construct/)をご参照ください。
- (2) セクターサイズ「512e」のHDDは、以下仮想環境OSは、非サポートです。
 - Windows Server 2008/2008 R2のHyper-V環境
 - VMware環境Windows留意の詳細につきましては、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>)をご参照ください。
VMware留意の詳細につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>)に記載されている
VMware vSphere の各バージョンに対応した「ソフトウェア説明書」をご参照ください。

ディスクアレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



＜構成規則について＞

- (1) RAIDドライブグループは、同種類(SAS/SATA/BC-SATA/SAS SSD/SATA SSD)、同容量/同回転数の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
ただし、UEFI環境でご利用になる場合は2TB以上に設定することも可能です。
各機種のUEFI環境対応状況は、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>)をご参照ください。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	——	1～32台 (*1)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	——	2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書込む方式)	——	4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式)	——	4～16台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、パリティを加えて書込む方式)	——	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	——	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのパリティを加えて書込む方式)	——	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	——	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数]

(*1) PY-SC3FAの場合は2～10台となります。

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。
使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり	左記以外のRAIDレベル	1カード当たり
オンボードSATAコントローラ	標準搭載	4	1	8	8
オンボードSATAコントローラ拡張オプション	PY-RLSE01		1	8	8
SASコントローラカード	PY-SC3FA	2	—	1	2
SASアレイコントローラカード	PY-SR2L2	8	1	8	8
SASアレイコントローラカード	PY-SR2C2	128	1	16	64
SASアレイコントローラ拡張ボード	PY-SRD08		1	16	64
SASアレイコントローラカード	PY-SR3FA	32	16	16	32
SASアレイコントローラモジュール	PY-SRD32A		16	16	32
SASアレイコントローラカード	PY-SR3C34/PY-SR3C41/PY-SR3C42		16	16	64
SASアレイコントローラカード	PY-SR3PR2/PY-SR3PE	128	16	16	64
SASアレイコントローラモジュール	PY-SRD36A		16	16	64

(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。

- (6) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

SASコントローラカードの接続方法について

・SASコントローラカードは、使用OS(OS機能)により、接続可能なストレージ構成、接続方式が異なります。詳細につきましては、下表をご参照ください。

■接続可能方式

接続方式	使用OS	～ (OS非依存)	Windows Server 2012/2012 R2	VMware
	OS機能	Windows記憶域スペース、Virtual SAN以外	Windows記憶域スペース (*1)	Virtual SAN[VSAN] (*2)
	使用可能なストレージベイ	搭載可能数8本以下のストレージベイ	搭載可能数9本以上のストレージベイ	搭載可能数8本以下のストレージベイ
	非アレイ(バススルー)	×	○	○
接続方式	非アレイ(バススルー) +アレイ接続 (*3)	×	○	×
	アレイ接続	○	×	×

○:サポート、×:非サポート

(*1) 物理ストレージのリソースプール管理を実現し、柔軟な仮想ストレージ構成を可能とするOS機能です。詳細につきましては、下記マイクロソフト社ホームページ「記憶域スペースの概要」等のOS側ドキュメントをご確認ください。

■マイクロソフト社公開ホームページ「記憶域スペースの概要」: <http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831739.aspx>

(*2) 複数の物理サーバに内蔵されたストレージを1つの仮想的な共有ストレージ(VSAN データストア)として利用する機能です。別途有償のVMwareソフトウェアライセンスの購入が必要となります。VMware/VSANの対応状況および機能詳細につきましては、下記をご参照ください。

■当社ホームページ「VMwareのサポート情報」: <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>■Veeamウェア社公開ホームページ「Virtual SAN」: <https://www.vmware.com/jp/products/virtual-san>

(*3) システム(OS)領域のみ、RAID0、RAID1のアレイ接続が可能です。

RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み・書き込み	推奨

SASアレイコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表の通りです。

■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU		動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
	有無	充電状態		
Write Through	あり / なし	—	Write Through	デフォルト出荷設定
Write Back	あり	十分	Write Back	SASアレイコントローラカード、FBU / BBUをカスタムメイド手配し、RAID設定サービスを手配された場合、「Write Back」設定で出荷
		不十分	Write Through	
	なし	—	Write Through	
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back	—

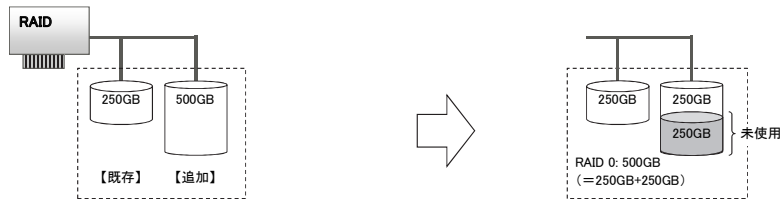
※ FBU/BBU使用時の注意事項

- ・BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なリキャリブレーション(調整のための充電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- ・FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リキャリブレーション中においてもWrite Back設定は維持されます。
- ・充電完了までの目安は、FBU: 最大10分程度、BBU: 最大12時間程度となります。

異なる容量のドライブ増設時のアレイド構成について

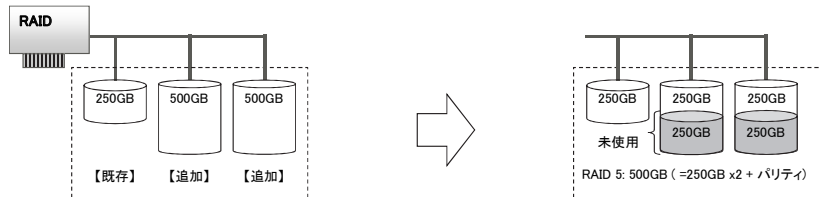
- アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。
 既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。
 このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

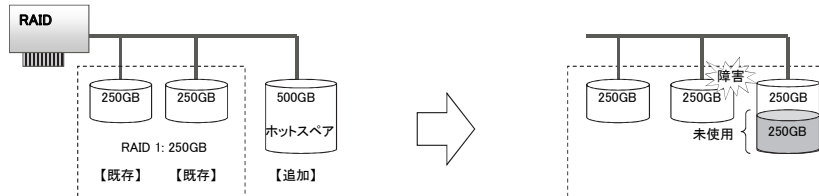
(2) RAID5の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。
 追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- アレイを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
- 消耗品には寿命があります。寿命は、バッテリーを搭載し、初回通電日からの換算となります。
- 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。
なお、寿命期間は25℃を基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますので予めご注意ください。
- バッテリーは非稼働な状態でも、放電を続けるため、ご購入後は速やかな搭載作業をお願いいたします。
- RAS支援サービスやOS標準スケジュール機能により交換予告通知設定をする事が可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。
詳細につきましては、当社ホームページ「定期交換部品・消耗品・有寿命部品」(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/>)をご参照ください。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAID/バッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/menu/maintenance/raidbattery/>)をご参照ください。
※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。詳細については当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/service/parts-exchange.html>)をご参照ください。

■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		寿命期間:「2年」		
品名		品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A PYBBBR01A PYBBBR02A PYBBBR03A PY-BBR06A PYBBBR06A PY-BBR07A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04A PYBBBR04A PYBBBR05A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円

■2013年12月以前提供製品 ※旧製品(販売終息済み)

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】			2014年1月販売開始		
旧製品(販売終息済み)		旧製品(販売終息済み)			寿命期間:「2年」		
品名	型名	品名	型名	価格(税別)	品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01 PYBBBR01 PYBBBR02 PYBBBR03	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7 PGBBBU7	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7				
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02 PYBBBD02	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02				
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248KL PG-248GL PG-248G1 PG-248G2 PG-248G3 PG-248G3L PG-248C3 PG-248C4 PG-248C6 PG-248C2L PG-248J PG-248J1 PG-248JC PG-248J5 PG-248C7 PG-248C8 PG-248G5 PG-248J2 PG-248JL PG-248J3 PG-248J4 PG-248K PG-248KL PG-248K3	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU5	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円
バッテリーバックアップユニット (SAS アレイコントローラカード)	PG-BBU6 PGBBBU6						
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04 PYBBBR04 PYBBBR05	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	23,000円			
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248C PG-248C1 PG-248CL PG-244C1 PG-244CL	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU1	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	11,000円
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248G PG-248G1L PG-248G2L	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU4	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC5A	11,000円
SASアレイコントローラカード	PG-244C PGB244C	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		

(*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)[PG-型名]のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内部蔵出荷)[PGB型名]も対象となります。

有寿命部品 - SSD製品の書き込み保証値について

本製品は、書き込み寿命を有するNANDフラッシュを含んだ「有寿命部品」となります。
 お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にNANDフラッシュの書き込み寿命を迎える場合があります。
 製品の保証は、当社の定める製品保証期間/SupportDesk契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。
 ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、製品保証期間/SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、
 お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。
 (*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

本製品の書き込み保証値および状態確認に使用する管理ツールは、以下の通りです。

製品名	型名	書き込み保証値 DWPD	管理ツール
内蔵2.5インチ PCIe SSD-800GB	PY-BS08PA/PYBBS08PA	10 回	- 「ServerView RAID Manager」(V6.2以上) - 「iSDCT」
内蔵2.5インチPCIe SSD-1.6TB	PY-BS16PA/PYBBS16PA	10 回	
内蔵2.5インチPCIe SSD-2TB	PY-BS20PA/PYBBS20PA	10 回	
PCIe SSD-1.3TB	PY-PS13PC/PYBPS13PC	6.7 回	- 「ServerView RAID Manager」(V6.2以上) - コマンドライン(ドライバ同梱)
PCIe SSD-2.6TB	PY-PS26PC/PYBPS26PC	6.7 回	
PCIe SSD-5.2TB	PY-PS52PC/PYBPS52PC	6.7 回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-200GB	PY-TS20NF4/PYBTS20NF4	10回	- 「ServerView RAID Manager」(V6.3.6以上)
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-400GB	PY-TS40NF4/PYBTS40NF4	10回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-800GB	PY-TS80NF4/PYBTS80NF4	10回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-1.2TB	PY-TS12NF4/PYBTS12NF4	10回	
内蔵2.5インチSSD-200GB	PY-SS20NF2/PYBSS20NF2 PY-SS20NF4/PYBSS20NF4	10回	
内蔵2.5インチSSD-400GB	PY-SS40NF2/PYBSS40NF2 PY-SS40NF4/PYBSS40NF4	10回	
内蔵2.5インチSSD-800GB	PY-SS80NF4/PYBSS80NF4	10回	
内蔵2.5インチSSD-1.2TB	PY-SS12NF4/PYBSS12NF4	10回	
内蔵1.8インチSSD-240GB	PY-SS24NL/PYBSS24NL	3回	
内蔵1.8インチSSD-480GB	PY-SS48NL/PYBSS48NL	3回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-120GB	PY-TS12NE2/PYBTS12NE2 PY-TS12NE4/PYBTS12NE4	0.3回	- 「ServerView RAID Manager」(V6.2以上)
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-240GB	PY-TS24NE2/PYBTS24NE2 PY-TS24NE4/PYBTS24NE4	0.3回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-480GB	PY-TS48NE2/PYBTS48NE2 PY-TS48NE4/PYBTS48NE4	0.3回	
内蔵3.5インチケーシング付きSSD-800GB	PY-TS80NE2/PYBTS80NE2 PY-TS80NE4/PYBTS80NE4	0.3回	
内蔵2.5インチSSD-120GB	PY-SS12ME2/PYBSS12ME2 PY-SS12NE2/PYBSS12NE2 PY-SS12NE4/PYBSS12NE4	0.3回	
内蔵2.5インチSSD-240GB	PY-SS24NE2/PYBSS24NE2 PY-SS24NE4/PYBSS24NE4	0.3回	
内蔵2.5インチSSD-480GB	PY-SS48NE2/PYBSS48NE2 PY-SS48NE4/PYBSS48NE4	0.3回	
内蔵2.5インチSSD-800GB	PY-SS80NE2/PYBSS80NE2 PY-SS80NE4/PYBSS80NE4	0.3回	
SATA Flashモジュール-64GB	PY-DS64YA/PYBDS64YA PY-DS64YA2/PYBDS64YA2	1.6 回	- 「iSMART」 - 「SATA Flashモジュール寿命診断ツール」 (CDまたはDVDドライブが必要)
SATA Flashモジュール-128GB	PY-DS13YA/PYBDS13YA PY-DS13YA2/PYBDS13YA2	1.6 回	

DWPD (Drive Writes Per Day) : 1日あたりにドライブ全容量分を上書きできる回数。

管理ツールは、いずれかをご使用ください。

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。
 定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に当社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をください
 ますようお願いいたします。
 また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、
 当社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

富士通へ保守作業をご依頼いただく際には、あらかじめ寿命に至っているかどうかをご確認の上、お申込みください。

管理ツールは、当社ホームページ:「ダウンロード」より入手できます。

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)

管理ツールの詳細な操作方法については、当社公開ホームページ:「マニュアル」より本製品のマニュアルをご参照ください。

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意ください。使用可能メモリ容量は以下の通りです
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります)。

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS12S / WS12RS	(~64)	4TB
WS12D / WS12RD	(~64)	4TB
WS12F / WS12RF	(~1)	32GB
WS12E / WS12RE	(~2)	64GB
WSS12RS	(~64)	4TB
WS08RS	(~4)	32GB (*2)
WS08RE	(~8)	2TB (*3)
WS08RD	(~64)	2TB (*3)
WS08RF	(~1)	8GB (*4)
WS08S-64	(~4)	32GB
WS08E-64	(~8)	1TB
WS08D-64	(~64)	1TB
WS08S-32	(~4)	4GB
WS08E-32	(~8)	64GB
RHEL7(Intel64)	~192	12TB
RHEL6(Intel64)	~192	12TB
RHEL6(x86)	~32	12GB
RHEL5(Intel64)	~80	1TB
RHEL5(x86)	~32	12GB
vS6.0	480	6TB
vS5.5	320	4TB
vS5.1	160	32GB (*5) / 2TB

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コア/8コア/10コア/12コア/14コア/16コア/18コア/20コア/22コア/24コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 R2 Standardインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は32GBまでです。

(*3) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用してください。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用してください。

(*4) Windows Server® 2008 R2 Foundationインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*5) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャネルモード、ランクスペアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

■BX2560 M1/BX2560 M2の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Dual Rank×8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM×1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM×1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM×1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4])では、SDDC機能は未サポートです。DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。また、同一容量の場合はRank数の大きい順に搭載します。

【DIMMの搭載順】

≪インテル®Xeon®プロセッサE5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時≫

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
1	①	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-
5	①	⑤	③	-	②	-	④	-
6	①	⑤	③	-	②	⑥	④	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
9	①	⑨	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
10	①	⑨	⑤	-	③	-	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	-	⑧	-
11	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	-	⑧	-
12	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	⑫	⑧	-
13	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	⑬	④	⑫	⑧	-
14	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	⑬	④	⑫	⑧	⑭

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

≪インテル®Xeon®プロセッサE5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時以外≫

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
1	①	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-
5	①	⑤	③	-	②	-	④	-
6	①	⑤	③	-	②	⑥	④	-
7	①	⑤	③	⑦	②	⑥	④	-
8	①	⑤	③	⑦	②	⑥	④	⑧

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
9	①	⑨	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
10	①	⑨	⑤	-	③	-	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	-	⑧	-
11	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	-	⑧	-
12	①	⑨	⑤	-	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	⑫	⑧	-
13	①	⑨	⑤	⑬	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	-	④	⑫	⑧	-
14	①	⑨	⑤	⑬	③	⑪	⑦	-	②	⑩	⑥	⑭	④	⑫	⑧	-
15	①	⑨	⑤	⑬	③	⑪	⑦	⑮	②	⑩	⑥	⑭	④	⑫	⑧	-
16	①	⑨	⑤	⑬	③	⑪	⑦	⑮	②	⑩	⑥	⑭	④	⑫	⑧	⑯

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【ランクスペアリングモード】

- 同一メモリチャネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank×2、またはDual Rank×2、またはQuad Rank×1
- Dual Rank×8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM×1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM×1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM×1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4])では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下になります。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM			LRDIMM	
	8GB	16GB	32GB	32GB (*1)	64GB
	SR	DR	DR	QR	QR
1DPC	-	-	-	24GB	48GB
2DPC	8GB	24GB	48GB	56GB	112GB

※DPC: チャネルあたりのDIMM数
(*1) BX2560 M1のみ

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

【DIMMの搭載順】

≪インテル®Xeon®プロセッサE5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時≫

<Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
2	①	①	-	-	-	-	-	-
4	①	①	-	-	②	②	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
4	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-
6	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-
8	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	-	-	④	④	-	-
10	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	⑤	⑤	④	④	-	-
12	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	⑤	⑤	④	④	⑥	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
1	①	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-
5	①	①	③	-	②	-	④	-
6	①	①	③	-	②	②	④	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
9	①	①	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
10	①	①	⑤	-	③	-	⑦	-	②	②	⑥	-	④	-	⑧	-
11	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	-	④	-	⑧	-
12	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	-	④	④	⑧	-
13	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	-
14	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	⑧

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

《インテル®Xeon®プロセッサ—E5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/

E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時以外》

<Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
2	①	①	-	-	-	-	-	-
4	①	①	-	-	②	②	-	-
6	①	①	③	③	②	②	-	-
8	①	①	③	③	②	②	④	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
4	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-
6	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-
8	①	①	-	-	③	③	-	-	②	②	-	-	④	④	-	-
10	①	①	⑤	⑤	③	③	-	-	②	②	-	-	④	④	-	-
12	①	①	⑤	⑤	③	③	-	-	②	②	⑥	⑥	④	④	-	-
14	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	⑦	②	②	⑥	⑥	④	④	-	-
16	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	⑦	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	⑧

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1							
	A		B		C		D	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
1	①	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-
5	①	①	③	-	②	-	④	-
6	①	①	③	-	②	②	④	-
7	①	①	③	③	②	②	④	-
8	①	①	③	③	②	②	④	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

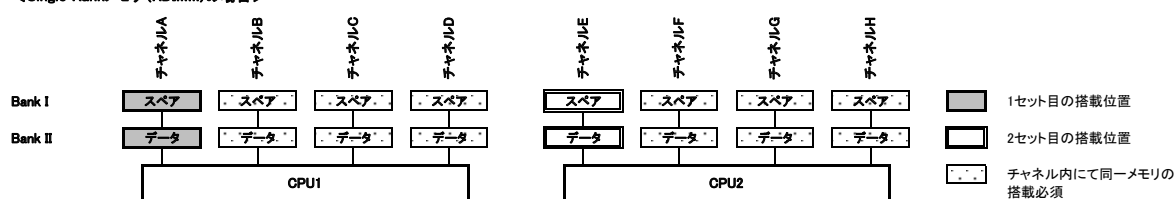
■物理CPU2個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1								CPU2							
	A		B		C		D		E		F		G		H	
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
9	①	①	⑤	-	③	-	⑦	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-
10	①	①	⑤	-	③	-	⑦	-	②	②	⑥	-	④	-	⑧	-
11	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	-	④	-	⑧	-
12	①	①	⑤	-	③	③	⑦	-	②	②	⑥	-	④	④	⑧	-
13	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	-	②	②	⑥	-	④	④	⑧	-
14	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	-	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	-
15	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	⑦	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	-
16	①	①	⑤	⑤	③	③	⑦	⑦	②	②	⑥	⑥	④	④	⑧	⑧

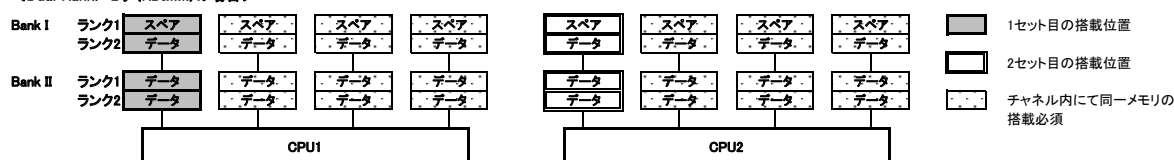
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

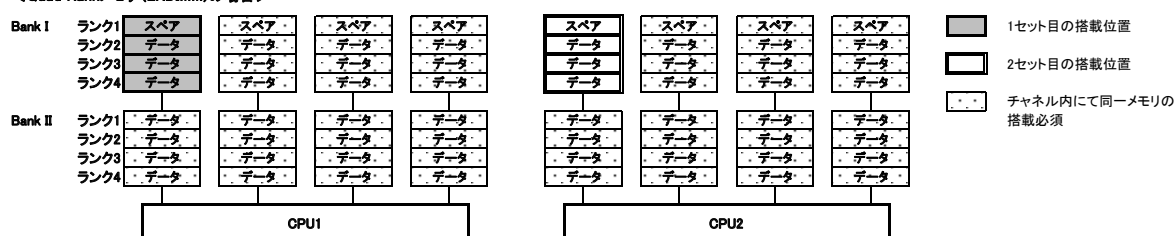
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - (3) 最低4枚の同一-DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一-DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。
また、同一容量の場合はRank数の大きい順に搭載します。

【DIMMの搭載順】

《インテル®Xeon®プロセッサE5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2699v4選択時》

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1							
チャネル	A		B		C		D	
Slot	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
DIMMs								
4	①	-	①	-	①	-	①	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
チャネル	A		B		C		D		E		F		G		H	
Slot	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
DIMMs																
8	①	-	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-	②	-
12	①	-	①	-	①	-	①	-	②	③	②	③	②	③	②	③

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

《インテル®Xeon®プロセッサE5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2699v4選択時以外》

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1							
チャネル	A		B		C		D	
Slot	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
DIMMs								
4	①	-	①	-	①	-	①	-
8	①	②	①	②	①	②	①	②

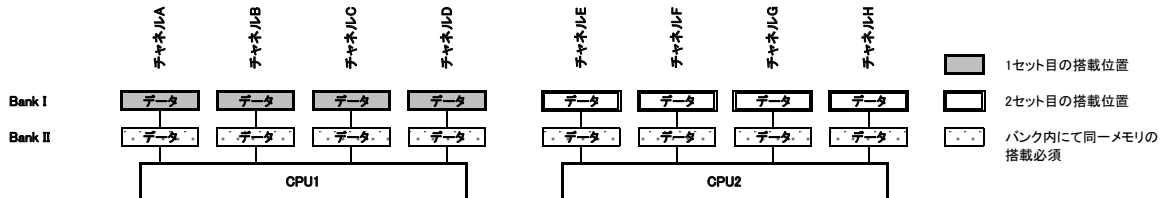
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
チャネル	A		B		C		D		E		F		G		H	
Slot	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
DIMMs																
8	①	-	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-	②	-
12	①	③	①	③	①	③	①	③	②	-	②	-	②	-	②	-
16	①	③	①	③	①	③	①	③	②	④	②	④	②	④	②	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一-BANK内である必要があります。
 - (2) 最低4枚の同一-DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (4) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC: チャネルあたりのDIMM数)。
 - (5) Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM × 1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4])では使用できません。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一-DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1							
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D
1DPC	①	-	①	-	①	-	①	-

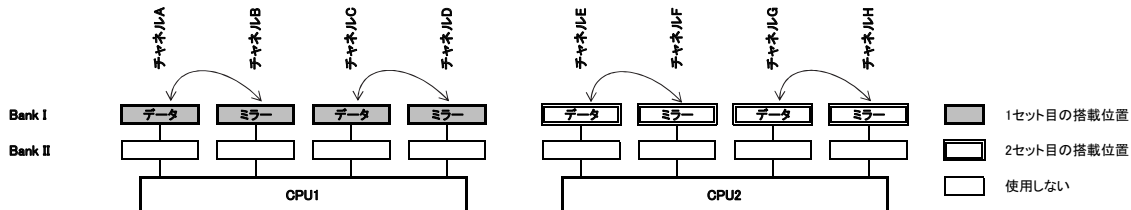
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1								CPU2							
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H
1DPC	①	-	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-	②	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■BX2580 M1/BX2580 M2の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM × 1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4]では、SDDC機能は未サポートです。
DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。
また、同一容量の場合はRank数の大きい順に搭載します。

【DIMMの搭載順】

≪インテル®Xeon®プロセッサ-E5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時≫

■物理CPU1個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1											
	A			B			C			D		
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-
4	①	-	-	③	-	-	②	-	-	④	-	-
5	①	⑤	-	③	-	-	②	-	-	④	-	-
6	①	⑤	-	③	-	-	②	⑥	-	④	-	-
7	①	⑤	-	③	⑦	-	②	⑥	-	④	-	-
8	①	⑤	-	③	⑦	-	②	⑥	-	④	⑧	-
9	①	⑤	⑨	③	⑦	-	②	⑥	-	④	⑧	-
10	①	⑤	⑨	③	⑦	-	②	⑥	⑩	④	⑧	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1												CPU2											
	A			B			C			D			E			F			G			H		
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
5	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
6	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-
7	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-
8	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
9	①	⑨	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
10	①	⑨	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
11	①	⑨	-	⑤	-	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
12	①	⑨	-	⑤	-	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	⑫	-	⑧	-	-
13	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	⑫	-	⑧	-	-
14	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	-	-
15	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	-	-
16	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
17	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
18	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
19	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
20	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
21	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	⑰	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
22	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	⑰	④	⑫	⑰	⑧	⑯	⑱

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

≪インテル®Xeon®プロセッサ-E5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時以外≫

■物理CPU1個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1											
	A			B			C			D		
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3	①	-	-	③	-	-	②	-	-	-	-	-
4	①	-	-	③	-	-	②	-	-	④	-	-
5	①	⑤	-	③	-	-	②	-	-	④	-	-
6	①	⑤	-	③	-	-	②	⑥	-	④	-	-
7	①	⑤	-	③	⑦	-	②	⑥	-	④	-	-
8	①	⑤	-	③	⑦	-	②	⑥	-	④	⑧	-
9	①	⑤	⑨	③	⑦	-	②	⑥	-	④	⑧	-
10	①	⑤	⑨	③	⑦	-	②	⑥	⑩	④	⑧	-
11	①	⑤	⑨	③	⑦	⑪	②	⑥	⑩	④	⑧	-
12	①	⑤	⑨	③	⑦	⑪	②	⑥	⑩	④	⑧	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU チャンネル Slot DIMMs	CPU1												CPU2											
	A			B			C			D			E			F			G			H		
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
5	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	④	-	-	-	-	-
6	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	-	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-
7	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	-	-	-
8	①	-	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
9	①	⑨	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	-	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
10	①	⑨	-	⑤	-	-	③	-	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
11	①	⑨	-	⑤	-	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	-	-	⑧	-	-
12	①	⑨	-	⑤	-	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	⑫	-	⑧	-	-
13	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	-	-	④	⑫	-	⑧	-	-
14	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	-	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	-	-
15	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	-	-
16	①	⑨	-	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
17	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	-	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
18	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	-	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
19	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	-	⑧	⑯	-
20	①	⑨	⑪	⑤	⑬	-	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
21	①	⑨	⑪	⑤	⑬	⑰	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	-	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
22	①	⑨	⑪	⑤	⑬	⑰	③	⑪	⑯	⑦	⑮	-	②	⑩	⑯	⑥	⑭	⑰	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
23	①	⑨	⑪	⑤	⑬	⑰	③	⑪	⑯	⑦	⑮	⑰	②	⑩	⑯	⑥	⑭	⑰	④	⑫	⑰	⑧	⑯	-
24	①	⑨	⑪	⑤	⑬	⑰	③	⑪	⑯	⑦	⑮	⑰	②	⑩	⑯	⑥	⑭	⑰	④	⑫	⑰	⑧	⑯	⑱

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【ランクスベアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1
- Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM × 1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC4/PYBME08

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
チャンネル	A			B			C			D		
Slot	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
DIMMs												
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	①	①	-	-	-	②	-	-	-	-	-
5	①	①	①	-	-	-	②	②	-	-	-	-
6	①	①	①	-	-	-	②	②	②	-	-	-
7	①	①	①	③	-	-	②	②	②	-	-	-
8	①	①	①	③	③	-	②	②	②	-	-	-
9	①	①	①	③	③	③	②	②	②	-	-	-
10	①	①	①	③	③	③	②	②	②	④	-	-
11	①	①	①	③	③	③	②	②	②	④	④	-
12	①	①	①	③	③	③	②	②	②	④	④	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

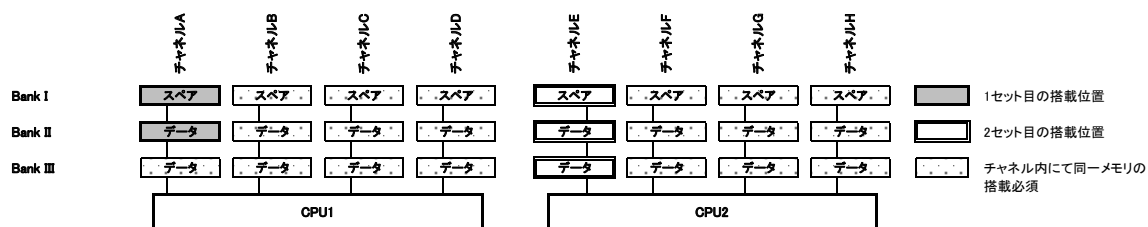
■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
チャンネル	A			B			C			D			E			F			G			H		
Slot	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
DIMMs																								
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	①	①	①	-	-	-	③	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	①	①	①	-	-	-	③	③	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	①	①	①	-	-	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	①	①	①	-	-	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	①	①	①	-	-	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	①	①	①	-	-	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	①	①	①	⑤	-	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	①	①	①	⑤	⑤	-	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	-	-	-	②	②	②	⑥	-	-	-	-	-	-	-	-
17	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	-	-	-	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	-	-	-
18	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	-	-	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	-	-	-
19	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	-	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	-	-	-	-	-
20	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	⑦	-	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	④	-	-	-	-
21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	⑦	⑦	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	④	④	-	-	-
22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	⑦	⑦	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	④	④	⑧	-	-
23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	⑦	⑦	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	④	④	⑧	⑧	-
24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	③	③	③	⑦	⑦	⑦	②	②	②	⑥	⑥	⑥	④	④	④	⑧	⑧	⑧

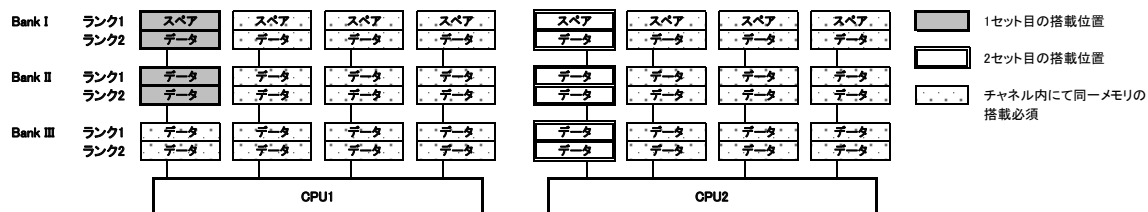
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

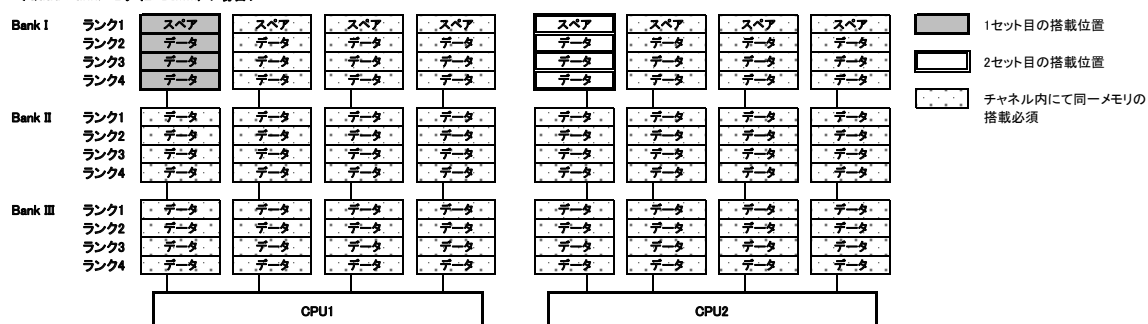
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。
また、同一容量の場合はRank数の大きい順に搭載します。

【DIMMの搭載順】

◀ インテル®Xeon®プロセッサ—E5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時 ▶

■物理CPU1個構成時

CPU		CPU1											
チャネル		A			B			C			D		
Slot		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
DIMMs													
4	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	—
8	①	②	—	①	②	—	①	②	—	①	②	—	—

○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU		CPU1												CPU2											
チャネル		A			B			C			D			E			F			G			H		
Slot		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
DIMMs																									
8	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	②	—	②	—	—	②	—	—	②	—	—	—
12	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	②	—	—	②	—	—	②	—	—	—
16	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	②	④	—	②	④	—	②	④	—	—
20	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	②	④	⑤	②	④	⑤	②	④	⑤	—

○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

◀ インテル®Xeon®プロセッサ—E5-2637v3/E5-2643v3/E5-2667v3/E5-2697v3/E5-2699v3/
E5-2637v4/E5-2643v4/E5-2667v4/E5-2697Av4/E5-2697v4/E5-2699v4選択時以外 ▶

■物理CPU1個構成時

CPU		CPU1											
チャネル		A			B			C			D		
Slot		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
DIMMs													
4	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	—
8	①	②	—	①	②	—	①	②	—	①	②	—	—
12	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	—

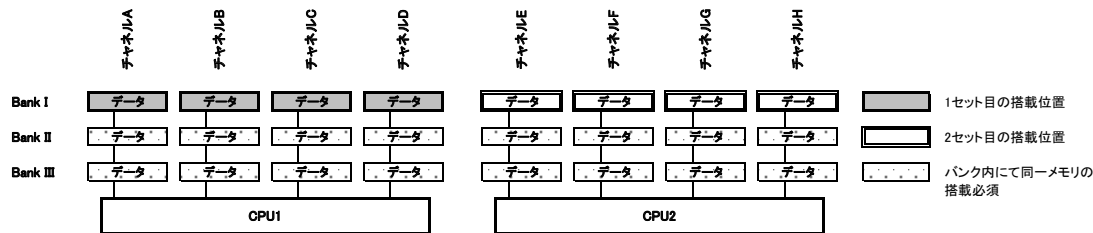
○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

CPU		CPU1												CPU2											
チャネル		A			B			C			D			E			F			G			H		
Slot		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
DIMMs																									
8	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	②	—	②	—	—	②	—	—	②	—	—	—
12	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	②	—	—	②	—	—	②	—	—	—
16	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	①	③	—	②	④	—	②	④	—	②	④	—	—
20	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	—	②	④	—	②	④	—	—
24	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	—

○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (4) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC: チャネルあたりのDIMM数)。
 - (5) Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM × 1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4])では使用できません。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数		CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D
1DPC	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	—

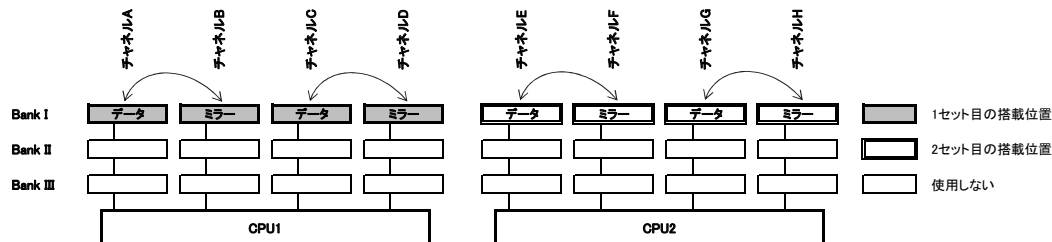
○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数		CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1C	2C	3C	1D	2D	3D	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1G	2G	3G	1H	2H	3H
1DPC	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	①	—	—	①	—	—	①	—	—	①	—	—

○内数字: 搭載順、—: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX2520 M1/TX2540 M1の場合

【インディペンデントチャネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
搭載順	1	4	2	5	3	6

■物理CPU2個構成時

	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
搭載順	1	7	3	9	5	11	2	8	4	10	6	12

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - (3) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (4) 最低3枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、3枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②

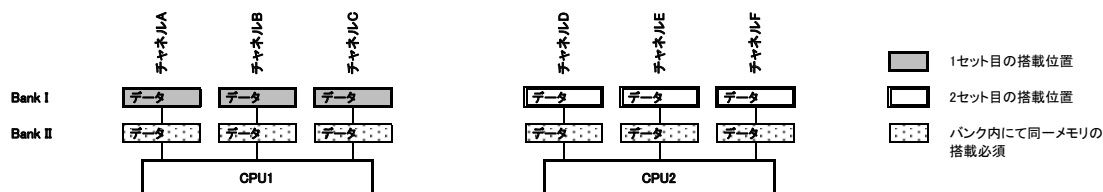
○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-
3セット	①	③	①	③	①	③	②	-	②	-	②	-
4セット	①	③	①	③	①	③	②	④	②	④	②	④

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



■RX2530 M2/RX2540 M2/RX2560 M2/TX2560 M2の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC2/PYBME08SC2]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC2/PYBME16SC2])では、SDDC機能は未サポートです。
DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順	1	5	9	3	7	11	4	8	12	2	6	10

■物理CPU2個構成時

	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順	1	9	17	5	13	21	7	15	23	3	11	19	2	10	18	6	14	22	8	16	24	4	12	20

【ランクスペアリングモード】

- (1) 同一メモリチャネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- (5) Quad Rankメモリの場合、3枚目のDIMMを搭載する際に、1,2枚目と同一チャネルの3番目のDIMMスロットには搭載せず、次のチャネルに搭載してください。
- (6) 最小構成: 1チャネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1
- (7) 使用可能なメモリ容量は、1チャネルあたり以下になります。
- (8) Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC2/PYBME08SC2]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC2/PYBME16SC2])では使用できません。

【メモリ使用可能容量】

	RDIMM			LRDIMM
	8GB	16GB	32GB	64GB
	SR	DR	DR	QR
1DPC	-	-	-	48GB
2DPC	8GB	24GB	48GB	112GB
3DPC	16GB	40GB	80GB	176GB

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

※DPC:チャネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-
2セット	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
3セット	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	③	-	-	-	②	②	②
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
4セット	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
5セット	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
	15	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
6セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	17	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	18	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
7セット	19	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	20	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
8セット	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

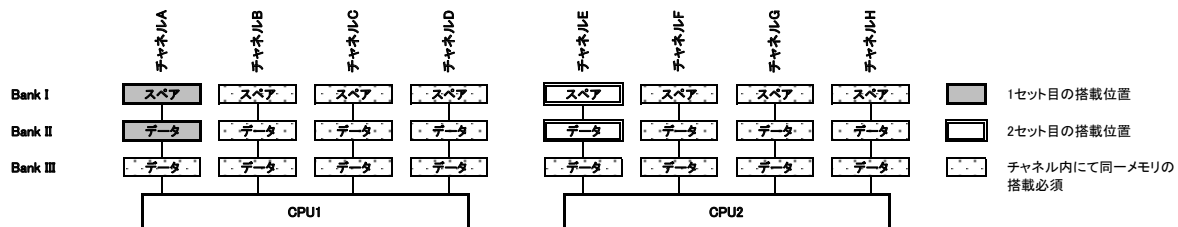
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	④	④	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

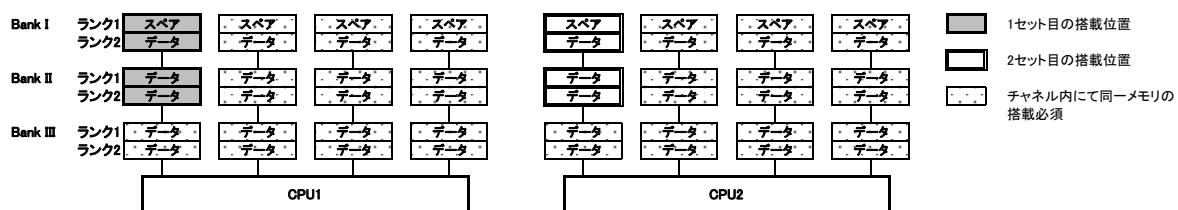
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

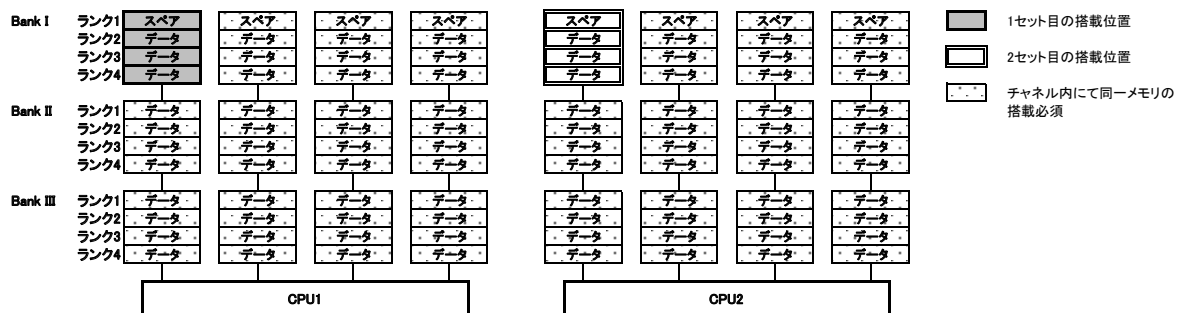
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-
3セット	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③

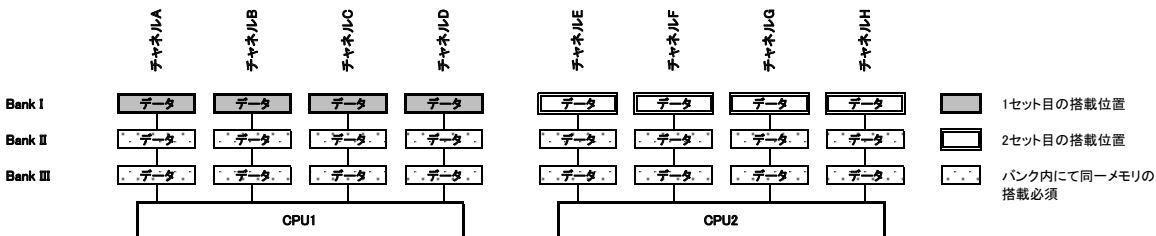
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (4) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
 - (5) Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC2/PYBME08SC2]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC2/PYBME16SC2])では使用できません。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-

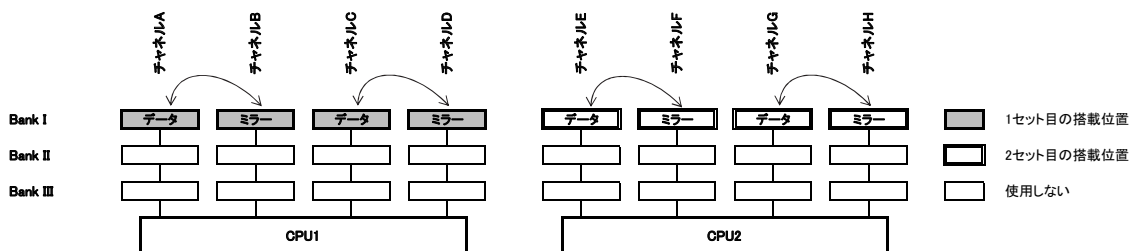
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



■RX4770 M3の場合

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
- (2) 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各種種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
- (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組み必要があります。

以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

- (1) CPUのCH0とCH1、CH2とCH3でミラーされます。
- (2) 最低2枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

■パフォーマンスモード、パフォーマンスモード&ミラードチャンネルモード(2CPU、2メモリボード)

[illegible]

■パフォーマンスモード、パフォーマンスモード&ミラードチャネルモード(2CPU、4メモリボード)

[illegible]

■パフォーマンスモード、パフォーマンスモード&ミラードチャネルモード(4CPU、4メモリボード)

CPU	CPU1									CPU2						CPU3						CPU4							
MEM Riser DIMM	MEM1			MEM2			MEM3			MEM4			MEM5			MEM6			MEM7			MEM8							
	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3					
	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3					
8				①						②						③						④							
10	⑤				①					②						③				⑥									
12	⑤	⑥			①					②						③						④							
14								⑥		②							③					④							
16		⑤	⑥		①					②						⑦				⑧			④						
18		⑤	⑥		①	⑨				②						⑦				⑧			④						
20					①	⑨				②	⑩						③				⑧			④					
22					①	⑨				②	⑩					⑦				⑧			④						
24	⑤	⑥			①	⑨				②	⑩					⑦				⑧			④	⑫					
26	⑤	⑥	⑬		①	⑨				②	⑩					⑦				⑧			④	⑫					
28		⑤	⑬		①	⑨				②	⑩					⑦				⑧			④	⑫					
30	⑤	⑬	⑬		①	⑨				②	⑩					⑦	⑮			⑧			④	⑫					
32	⑤	⑬			①	⑨				②	⑩					⑦	⑮			⑧	⑮			④					
34	⑤	⑬		①	⑨	⑰				②	⑩					⑦	⑮			⑧	⑮			④					
36	⑤	⑬		①	⑨	⑰				②	⑩	⑰				⑦	⑮			⑧	⑮			④					
38	⑤	⑬		①	⑨	⑰				②	⑩	⑰				⑦	⑮			⑧	⑮			④					
40	⑤	⑬		①	⑨	⑰				②	⑩	⑰				⑦	⑮			⑧	⑮			④					
42	⑤	⑬	⑰		①	⑨	⑰			②	⑩	⑰				⑦	⑮			⑧	⑮			④					
44	⑤	⑬	⑰		①	⑨	⑰			②	⑩	⑰				⑦	⑮			⑧	⑮			④					
46	⑤	⑬	⑰		①	⑨	⑰			②	⑩	⑰				⑦	⑮	⑰		⑧	⑮			④					
48	⑤	⑬	⑰		①	⑨	⑰			②	⑩	⑰				⑦	⑮	⑰		⑧	⑮	⑰		④					

○内数字・搭載順。－:×千リ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【ロックステップモード】

- (1) 性能よりRAS機能を優先して動作します。
 (2) RAS機能として、SDDCをサポートします。
 (3) 最低8枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
 以下搭載条件のとおり、4枚のDIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMに搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■ ロックステップモード、ロックステップモード&ミラードチャネルモード(2CPU、2メモリボード)

CPU	CPU1								CPU2							
	MEM1				MEM2				MEM3				MEM4			
	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2
DIMM	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2
8	①	-	-	①	-	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-
12	①	③	-	①	③	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-
16	①	③	-	①	③	-	-	-	②	④	-	-	②	④	-	-
20	①	③	⑤	①	③	⑤	-	-	②	④	-	-	②	④	-	-
24	①	③	⑤	①	③	⑤	-	-	②	④	⑥	-	②	④	⑥	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■ ロックステップモード、ロックステップモード&ミラードチャネルモード(2CPU、4メモリボード)

CPU	CPU1								CPU2							
	MEM1				MEM2				MEM3				MEM4			
	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2
DIMM	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2
8	①	-	-	①	-	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-
12	①	-	-	①	-	③	-	③	②	-	-	-	②	-	-	-
16	①	-	①	①	-	③	-	③	②	-	-	-	②	-	-	-
20	①	⑤	-	①	⑤	-	③	-	②	-	-	-	②	-	-	-
24	①	⑤	-	①	⑤	-	③	-	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-
28	①	⑤	-	①	⑤	-	③	⑦	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-
32	①	⑤	-	①	⑤	-	③	⑦	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-
36	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	③	⑦	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-
40	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	③	⑦	②	⑥	⑩	-	②	⑥	⑩	-
44	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	③	⑦	②	⑥	⑩	-	②	⑥	⑩	-
48	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	③	⑦	②	⑥	⑩	-	②	⑥	⑩	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■ ロックステップモード、ロックステップモード&ミラードチャネルモード(4CPU、4メモリボード)

CPU	CPU1								CPU2								CPU3								CPU4								
MEM Riser	MEM1				MEM2				MEM3				MEM4				MEM5				MEM6				MEM7				MEM8				
DIMM	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	
16	①	-	-	①	-	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
20	①	⑤	-	①	⑤	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
24	①	⑤	-	①	⑤	-	-	-	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
28	①	⑤	-	①	⑤	-	-	-	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-	③	⑦	-	-	③	⑦	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
32	①	⑤	-	①	⑤	-	-	-	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-	③	⑦	-	-	③	⑦	-	-	④	⑧	-	-	④	⑧	-	-	
36	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	-	-	②	⑥	-	-	②	⑥	-	-	③	⑦	-	-	③	⑦	-	-	④	⑧	-	-	④	⑧	-	-	
40	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	-	-	②	⑥	⑩	-	-	②	⑥	⑩	-	-	③	⑦	-	-	③	⑦	-	-	④	⑧	-	-	④	⑧	
44	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	-	-	②	⑥	⑩	-	-	②	⑥	⑩	-	-	③	⑦	⑪	-	-	③	⑦	-	-	④	⑧	-	-	④	⑧
48	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	-	-	②	⑥	⑩	-	-	②	⑥	⑩	-	-	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	-	-	④	⑧	⑫	-	-	④	⑧

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■ ロックステップモード、ロックステップモード&ミラードチャネルモード(4CPU、8メモリボード)

CPU	CPU1								CPU2								CPU3								CPU4								
MEM Riser	MEM1				MEM2				MEM3				MEM4				MEM5				MEM6				MEM7				MEM8				
DIMM	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	A1	A2	B1	B2	
16	①	-	-	①	-	-	-	-	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
20	①	-	-	①	-	⑤	-	⑤	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
24	①	-	-	①	-	⑤	-	⑤	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
28	①	-	-	①	-	⑤	-	⑤	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
32	①	-	-	①	-	⑤	-	⑤	②	-	-	-	②	-	-	-	③	-	-	-	③	-	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
36	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	-	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
40	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	-	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
44	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	-	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
48	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	-	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	-	-	-	④	-	-	-	
52	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	⑬	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	-	-	
56	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	⑬	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	-	-	
60	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	⑬	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	-	-	
64	①	⑨	-	①	⑨	-	⑤	⑬	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	-	-	
68	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	-	-	②	⑩	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	-	-	
72	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫	
76	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫
80	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫
84	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫
88	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫
92	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫
96	①	⑨	⑪	①	⑨	⑪	⑤	⑬	②	⑩	⑬	-	-	②	⑩	⑬	-	-	③	⑪	⑬	-	-	③	⑪	-	-	④	⑫	-	-	④	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

■ ロックステップモード

		CPU#n							
		メモリボードx (*1)				メモリボードy (*1)			
DIMM スロット	MEMx ₁	MEMx ₂	MEMx ₃	MEMx ₄	MEMy ₁	MEMy ₂	MEMy ₃	MEMy ₄	
	DIMM A1	DIMM B1	DIMM C1	DIMM D1	DIMM A1	DIMM B1	DIMM C1	DIMM D1	
	MEMx ₁	MEMx ₂	MEMx ₃	MEMx ₄	MEMy ₁	MEMy ₂	MEMy ₃	MEMy ₄	
	DIMM A2	DIMM B2	DIMM C2	DIMM D2	DIMM A2	DIMM B2	DIMM C2	DIMM D2	
	MEMx ₁	MEMx ₂	MEMx ₃	MEMx ₄	MEMy ₁	MEMy ₂	MEMy ₃	MEMy ₄	
	DIMM A3	DIMM B3	DIMM C3	DIMM D3	DIMM A3	DIMM B3	DIMM C3	DIMM D3	
ロックステップモード	1	1	1	1	2	2	2	2	
	3	3	3	3	4	4	4	4	
	5	5	5	5	6	6	6	6	

■ロックステップモード&ランクスペアリングモード(4CPU、8メモリボード)

CPU	CPU1						CPU2						CPU3						CPU4						
MEM Riser	MEM1			MEM2(*1)			MEM3			MEM4(*1)			MEM5			MEM6(*1)			MEM7			MEM8(*1)			
DIMM	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	
DIMMs	4CPU構成 (メモリ容量が同じ場合)																								
32	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	
40	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	①	①	-	
48	①	①	①	①	①	①	-	-	-	-	-	-	①	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	
56	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
64	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
72	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
80	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
88	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
96	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
DIMMs	4CPU構成 (メモリ容量が異なる場合)						4CPU構成 (メモリ容量が異なる場合)						4CPU構成 (メモリ容量が異なる場合)						4CPU構成 (メモリ容量が異なる場合)						
8	①	①	-	①	①	-	-	-	②	②	-	②	②	-	③	③	-	③	③	-	④	④	-	④	④
16	①	①	-	①	①	-	①	①	②	②	②	②	②	②	③	③	③	③	③	③	④	④	④	④	
24	①	①	①	①	①	①	①	①	②	②	②	②	②	②	③	③	③	③	③	③	④	④	④	④	

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

(※1) MEM2, MEM4, MEM6 および MEM8はCPU1からCPU4までのDIMMの合計が48枚以下の場合、不要です。

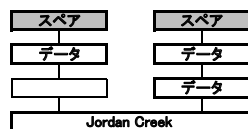
【DIMMの搭載位置】

1 Rank設定

1 Rank DIMM(RDIMM)

(a) DDR CH内
2枚搭載

(b) DDR CH内に
3枚搭載



使用可能容量

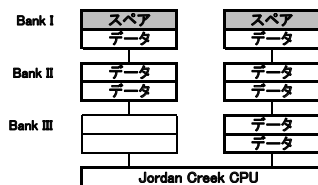
1/2

2/3

2Rank DIMM(RDIMM)

(c) DDR CH内に
2枚搭載

(d) DDR CH内に
3枚搭載



使用可能容量

3/4

5/6

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX2550 M2/CX2570 M2の場合

【インディペンデントチャネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMM × 1)[PY-ME08SB4/PYBME08SB4]、メモリ-8GB(8GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME08SC4/PYBME08SC4]、メモリ-16GB(16GB 2400 RDIMM × 1)[PY-ME16SC4/PYBME16SC4])では、SDDC機能は未サポートです。
DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。また、同一容量の場合はRank数の大きい順に搭載します。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
チャネル	A		B		D		C		G		H		F		E	
Slot	1A	2A	1B	2B	2D	1D	2C	1C	1G	2G	1H	2H	2F	1F	2E	1E
DIMMs																
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②
3	①	-	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	-	②
4	①	-	-	-	-	-	-	③	④	-	-	-	-	-	-	②
5	①	-	⑤	-	-	-	-	③	④	-	-	-	-	-	-	②
6	①	-	⑤	-	-	-	-	③	④	-	-	-	-	⑥	-	②
7	①	-	⑤	-	-	⑦	-	③	④	-	-	-	-	⑥	-	②
8	①	-	⑤	-	-	⑦	-	③	④	-	⑧	-	-	⑥	-	②
9	①	⑨	⑤	-	-	⑦	-	③	④	-	⑧	-	-	⑥	-	②
10	①	⑨	⑤	-	-	⑦	-	③	④	-	⑧	-	-	⑥	⑩	②
11	①	⑨	⑤	-	-	⑦	⑪	③	④	-	⑧	-	-	⑥	⑩	②
12	①	⑨	⑤	-	-	⑦	⑪	③	④	⑫	⑧	-	-	⑥	⑩	②
13	①	⑨	⑤	⑬	-	⑦	⑪	③	④	⑫	⑧	-	-	⑥	⑩	②
14	①	⑨	⑤	⑬	-	⑦	⑪	③	④	⑫	⑧	-	⑭	⑥	⑩	②
15	①	⑨	⑤	⑬	⑮	⑦	⑪	③	④	⑫	⑧	-	⑭	⑥	⑩	②
16	①	⑨	⑤	⑬	⑮	⑦	⑪	③	④	⑫	⑧	⑯	⑭	⑥	⑩	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【パフォーマンスモード】

- メモリの最大性能にて動作します。
 - 動作速度は搭載枚数により異なりますので、詳細は各機種の「メモリの搭載について」をご参照ください。
 - 最低8枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

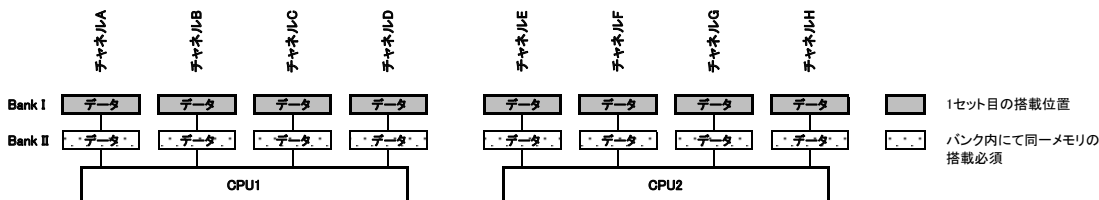
【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1								CPU2							
チャネル	A		B		D		C		G		H		F		E	
Slot	1A	2A	1B	2B	2D	1D	2C	1C	1G	2G	1H	2H	2F	1F	2E	1E
DIMMs																
8	①	-	①	-	-	①	-	①	②	-	②	-	-	②	-	②
12	①	③	①	③	③	①	③	①	②	-	②	-	-	②	-	②
16	①	③	①	③	③	①	③	①	②	④	②	④	④	②	④	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置型名 規格			Windows系											Linux系		
			適用OS											バックアップユーティリティ		
			WS08S/E-32 WS08S/E-D-64	WS08W	WS08RS/E/D	WS08RF	WS08RW	WS08RH	SBS11E	WS12S/D	WS12F	WS12RS/D/F/E	RHEL5(x86) RHEL5(amd64)	RHEL6(x86) RHEL6(amd64)	RHEL7(amd64)	
			WindowsServer Backup											Linux Command (*1)		
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲	▲	▲	△	○	○	
	PY-RD112 PYBRD112		▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲ (*2)	▲	▲	▲	△	○	○	
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	

- ：対応
×：未対応
●：対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
△：サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート
▲：内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)の設定が、「Fixed Disk」モードの場合のみサポート
－：OS組合せなし

(*1) 最新対応状況につきましては、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照ください。
(*2) 増設用USB3.0ポートを使用した接続の場合、Windows Server Backup の「ベア メタル回復」機能は未サポート。

留意事項

- ・内蔵バックアップ装置(RDX装置を除く)をWindows OSでご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアが必要です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)を Windows Server Backup でご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」のインストールが必要です。「RDX Utility for Windows」は、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)から入手可能です。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupでご使用になる場合、本装置の設定は必ず「Fixed Disk」モードでご使用ください。「Fixed Disk」モードは、内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupで使用可能にするための専用モードです。
- ・内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をバックアップソフトウェアでご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」をインストールしないでください。
- ・Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
- ・OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

■ Arcserve for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserve for Windowsの対応について記します。
なお、Arcserve UDP v6 製品のバックアップ装置の対応については、下表の「Arcserve Backup r17」の欄をご参照ください。
また、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの最新情報や仕様上の注意については、下記をご参照ください。
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/software/arcserve/>)

バックアップ装置 装置型名 規格			適用OS		Arcserve 版数		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS08RW		WS12S/D/F		WS12RS/D/F/E WSS12RS	
							Arcserve Backup r16.5	Arcserve Backup r17	Arcserve Backup r16.5	Arcserve Backup r17	Arcserve Backup r16.5	Arcserve Backup r17	Arcserve Backup r16.5	Arcserve Backup r17	Arcserve Backup r16.5	Arcserve Backup r17	Arcserve Backup r16.5 (*1)	Arcserve Backup r17
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-RD112 PYBRD112						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6					○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

- ：対応
×：未対応
●：対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
－：OS組合せなし
- (*1) Arcserve社提供のWIN-CA ARCSERVE BACKUP 16.5 SERVICE PACK 1および最新のパッチモジュールの適用が必須。
(Arcserve社のサイト: <https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/201810429-arcserve-Backup-16-5-patches>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)

適用OS NetVault Backup 版数 装置型名 規格			WS08S/E-32					WS08S/E/D-64					WS08RS/E/D					WS08RF					WS12S/D/F					WS12RS/D/F/E WSS12RS				
			NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○

○：対応
 ×：未対応
 ー：OS組合せなし

■ Symantec Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とSymantec Backup Execの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とSymantec Backup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/veritas/products/bews/technical/>)

適用OS Backup Exec 版数 装置型名 規格			WS08S/E-32				WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D/F/E				WS12RS/D/F/E WSS12RS			
			Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0 (*1)	×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4)	◎ (*4)	×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4) (*6)	◎ (*4) (*6)	×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4) (*6)	◎ (*4) (*6)	×	×	×	×	×	◎ (*4) (*6)	◎ (*4)	×	×	◎ (*4) (*6)	◎ (*4)	
	PY-RD112 PYBRD112		×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4)	◎ (*4)	×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4) (*6)	◎ (*4) (*6)	×	◎ (*4) (*5)	◎ (*4) (*6)	◎ (*4) (*6)	×	×	×	×	×	◎ (*4) (*6)	◎ (*4)	×	×	◎ (*4) (*6) (*7)	◎ (*4)	
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	×	×	×	×	×	○ (*6)	○ (*8)	×	×	○ (*6) (*7)	○ (*8)	
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	×	×	×	×	×	○ (*6)	○ (*8)	×	×	○ (*6) (*7)	○ (*8)	
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○ (*2)	○	○	○	○ (*2) (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*2) (*6)	○ (*6)	○ (*6)	○ (*6)	×	×	×	×	×	○ (*6)	○ (*8)	×	×	○ (*6) (*7)	○ (*8)	
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	○ (*5)	○ (*6)	○ (*6)	×	○ (*5)	○ (*6)	○ (*6)	×	×	×	×	×	○ (*6)	○ (*8)	×	×	○ (*6) (*7)	○ (*8)	

○：対応
 ×：未対応
 ◎：対応(ただし、当社提供のUSBドライバの適用必須)
 ー：OS組合せなし

(*1) 媒体(Data Cartridge RDX) をまたがるシステムバックアップは未サポート。

(*2) テープ媒体をまたがるシステムバックアップは未サポート。

また、Veritas Technologies LLC 提供のデバイスドライバ DD120100515 以降の適用が必須(なお、Backup Exec 2010 R2, R3 をご使用になる場合は、本デバイスドライバの適用は不要)。

(*3) Backup Exec 2010 R3以降を使用することを推奨。

(*4) SDRIによるリストアは未サポート。

(*5) Backup Exec 2012 SP2以降でサポート。

(*6) Datacenter は未サポート。

(*7) Backup Exec 2014 SP1以降でサポート。

(*8) Datacenter の場合、SDRIによるリストアは未サポート。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。
 当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>)

バックアップ装置 適用OS NetVault Backup 版数 装置型名 規格			RHEL5 (x86)/(Intel64)					RHEL6 (x86)/(Intel64)					RHEL7(Intel64)				
			NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	△	△	△	△	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	△	△	△	△	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○

○: 対応

×: 未対応

△: サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

—: OS組合せなし

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連

- 標準搭載のiRMC(リモートマネジメントコントローラ)やオプションのSASコントローラカード/SASアレイコントローラカードを搭載することにより、使用OSに依存せず、「Agentレス」「管理LAN(業務LAN非使用)」にて、ストレージ/RAIDの状態監視が可能です。専用のソフトウェア(Servview Agents等)を導入する必要が無いため、CPUやメモリリソースを消費せず、業務アプリケーションへのリソース配置の最適化が可能となります。
- 本機能を使用可能な機種/オプション構成は下表の通りです。
機種により選択可能なストレージコントローラ型名は異なりますので、システム構成図等でご確認ください。

機種	搭載するストレージコントローラ				JX40 S2/JX60接続
	オンボード	SASコントローラカード	SASアレイコントローラカード/SASアレイコントローラモジュール	SASアレイコントローラカード	
	・SATAコントローラ ・SASコントローラ (オンボードSATAコントローラ 拡張オプション)	・PY-SC3FA/PYBSC3FA	・PY-SR2L2/PYBSR2L2 ・PY-SR2C2/PYBSR2C2	・PY-SR3C34/PYBSR3C34 ・PY-SR3C4x/PYBSR3C4x ・PY-SR3FA/PYBSR3FA ・PY-SRD3xA/PYBSRD3xA	・PY-SR3PR2/PYBSR3PR2L ・PY-SR3PE/PYBSR3PEx
BX2560 M1/M2	○	-	-	◎	-
BX2580 M1/M2	○	-	-	-	-
RX1330 M2	○	-	-	◎	-
RX2520 M1	3.5インチ	-	○	◎	◎
	2.5インチ	x	x	◎	◎
RX2530 M2	○	○	-	◎	◎
RX2540 M2	3.5インチ	-	○	◎	◎
	2.5インチ	-	○	◎	◎
RX2560 M2	-	x	-	◎	◎
RX4770 M3	-	-	-	◎	◎
TX1320 M2	○	-	-	◎	-
TX1330 M2	○	-	-	◎	-
TX2540 M1	x	-	x	◎	-
TX2560 M2	-	x	-	◎	◎
CX2550 M2	○	-	-	◎	-
CX2570 M2	○	-	-	◎	-

◎: ストレージ/RAID監視可能、○: ストレージ監視可能、x: 不可、-: 対象構成無し(非サポート構成)

- 詳細な監視対象/設定方法等につきましては、下記当社ホームページに掲載の「マニュアル」をご確認ください。

■ 当社ホームページ:

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suiteのマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

セキュリティチップ(TPM)およびインテルトラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて

BX2560 M2/BX2580 M2/RX2530 M2/RX2540 M2/RX2560 M2/TX2560 M2において、以下の通りOS、TPM、BIOSの種類によりTPMおよびインテル® TXTのサポートが異なりますので、ご注意願います。上記以外の機種については、インテル® TXTは非サポートです。

OS	インテルTXT: 設定なし TPM 1.2[PYBTTPM03]を使用 BIOS: レガシーまたはUEFIモード	インテルTXT: 設定なし TPM 2.0[PYBTTPM05]を使用 BIOS: UEFIモードのみ	インテルTXT: 設定あり TPM 1.2[PYBTTPM03]を使用 BIOS: レガシーモードのみ	インテルTXT: 設定あり TPM 2.0[PYBTTPM05]を使用 BIOS: UEFIモードのみ
Windows Server 2012 R2	○	○	x	x
Windows Server 2012	○	○	x	x
Red Hat Enterprise Linux 7.2	x	x	○	x
Red Hat Enterprise Linux 6.7	x	x	○	x

○: サポート x: 非サポート

※ BIOSファームウェアをアップデートする際は、BIOS設定画面にてインテル® TXTの設定を無効にする必要があります。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。
Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表の通りです。
ダウングレード例: Windows Server® 2012 R2>Windows Server® 2012>Windows Server® 2008 R2>Windows Server® 2008
ダウンエディション例: Datacenter>Enterprise>Standard

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ									
		WS12RS	WS12RD	WS12S	WS12D	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S-32/64	WS08E-32/64	WS08D-64
保有 ライ セン ス	WS12RS	-	x	○	x	○	○	x	○	○	x
	WS12RD	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12S	x	x	-	x	○	○	x	○	○	x
	WS12D	x	x	○	-	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	x	x	-	x	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	○	-	x	○	○	x
	WS08RD	x	x	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x
	WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-

○:可能、x:不可、-:対象外

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2は、64bit版のみの提供となります。

Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2012 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記の通りです。
 - 本製品には、Windows Server® 2012 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 R2のOS媒体も同梱されます。
さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 R2のインストール作業を代行します。
 - 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2012 R2用となります。Windows Server® 2008 R2ではご使用できません。
CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていないので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
 - 本製品にはWindows Server® 2012 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008 R2から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2012 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。
「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。
手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Windows Server)	SupportDesk Standard(Windows Server 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard - Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard - Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise - Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter
ゲスト対象OS	—	Windows® Storage Server 2012 R2 Standard ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(*2)
サービス内容	- 専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) - Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)	- 専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) - Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例: ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザー様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザー様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマールドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。
マイクロソフト社 ホームページ(<http://support.microsoft.com/kb/2883200>)
- Windows Server® 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentials のバックアップ機能を使用する場合は、2台以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- LinuxのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供していますが、一部のラインナップでは一括払いでPRIMERGYと同時手配可能なオプションをご提供します。
- オプション提供品のラインナップ詳細は下表の通りです。

		SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)				SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート)					
		1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)		
サービス期間		1/3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	5年					
サービス時間帯		平日/24時間365日				平日/24時間365日					
サポート 範囲	物理CPU数 (Socket数)	～2	～2	～2	無制限	～2	～2	～2	無制限		
	RHELゲスト OS数	～1	～4	無制限	～2	～1	～4	無制限	～2		
使用可能 ハイパーバイザ		RHEL仮想マシン機能			Hyper-V VMware		RHEL仮想マシン機能			Hyper-V VMware	
サポートOS(*1)(*2)		Red Hat Enterprise Linux				Red Hat Enterprise Linux					
サービス内容		・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行				・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトID(EUSサービスを含む)の入手手続き代行					

- (*1) 対象版数については、当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。
- (*2) 仮想環境におけるサポートOSの組み合わせについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。
- (*3) 同時起動仮想マシン数は、RHEL以外の他OSを含めて4以下に制限されます。5ゲスト以上動作させる場合は、年額払いの拡張プラスサポート「RHEL Server [PG 2CPU/ゲスト無制限]」を別途ご契約ください。
- ・詳細はシステム構成図(サービスイ覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションについて

- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、工場出荷時に機器と同時手配するSupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux) [PYBで始まるカスタムメイド型名]との同時手配必須となります(Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションのみでの手配はできません)。
- OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションを手配しない場合、インストールイメージ(ISOファイル)をRed Hat Networkからダウンロードしてください。Red Hat Networkに、Red Hat Enterprise LinuxのSupportDesk契約者に提供していますプロダクトIDを登録することで、アクセス可能です。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、
当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ (*1)	
		ext3/ext4 (*2)	XFS
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB / -	-
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB (*3)	-
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB / -	-
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	12TB	8TB / 16TB (*3)	-
Red Hat Enterprise Linux 7 (for intel64)	12TB	16TB / 50TB	500TB

- (*1) システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。
- (*2) ext4は、RHEL6 (for x86/for intel64)/RHEL7 (for intel64)でご使用ください。
- (*3) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用ください。

Linux仮想環境におけるWindowsゲストインストール時のメディアについて

Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラ、オンボードSATAコントローラ拡張オプションにてRAID構成で使用する場合のみ、Linuxのディスクダンプ機能はRHEL5.9以降、RHEL6.4以降、RHEL7.0以降をご使用ください。

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/>)の「PRIMERGYのLinux情報」のLinuxサポート版数一覧表の各機種の注意事項を参照の上、ご使用ください。

機種名	RHEL5			RHEL6 / RHEL7		
	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時		アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX2560 M1/M2	-	-	-	○	-	○
BX2580 M1/M2	-	-	-	○	-	○
RX1330 M2	-	-	-	○	○	○
RX2520 M1	○	-	○	○	-	○
RX2530 M2	-	-	-	○	-	○
RX2540 M2	-	-	-	-	-	○
RX2560 M2	-	-	-	-	-	○
RX4770 M3	-	-	-	-	-	○
TX1310 M1	○	○	-	○	○	-
TX1320 M2	-	-	-	○	○	○
TX1330 M2	-	-	-	○	○	○
TX2540 M1	○	-	○	○	-	○
TX2560 M2	-	-	-	-	-	○
CX2550 M2	-	-	-	○	○	○
CX2570 M2	-	-	-	○	○	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL5			RHEL6 / RHEL7		
	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時		アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX2560 M1/M2	-	-	-	×	-	○
BX2580 M1/M2	-	-	-	×	-	○
RX1330 M2	-	-	-	×	×	○
RX2520 M1	×	-	○	○	-	○
RX2530 M2	-	-	-	×	-	○
RX2540 M2	-	-	-	-	-	○
RX2560 M2	-	-	-	-	-	○
RX4770 M3	-	-	-	-	-	○
TX1310 M1	×	×	-	○	○	-
TX1320 M2	-	-	-	×	×	○
TX1330 M2	-	-	-	×	×	○
TX2540 M1	×	-	○	○	-	○
TX2560 M2	-	-	-	-	-	○
CX2550 M2	-	-	-	×	○	○
CX2570 M2	-	-	-	×	○	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組み合わせについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

■ Windows

略称		品名	型名	手配可能数	
Windows	インストール	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3	1
		WS12RS(Hyper-V)	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM/Hyper-V) インストール	PYBWPS3H	1
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2	1
		WS12S(Hyper-V)	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM/Hyper-V) インストール	PYBWPS2H	1
	バンドル	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWS3	1
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWS2	1
		WS12S Add	Windows Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAS22	3
	バンドル	WS12RD	Windows Server 2012 R2 Datacenter(2CPU) バンドル	PYBWBD3	1
		WS12D	Windows Server 2012 Datacenter(2CPU) バンドル	PYBWBD22	1
		WS12D Add	Windows Server 2012 Datacenter Additional License(2CPU) バンドル	PYBWAD22	1
	インストール	WSS12RS	Windows Storage Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPWS3	1
	バンドル	WSS12RS Add	Windows Storage Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAWS3	3
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2012 1 Device CAL バンドル	PYBWCD01	4
		DCAL5	Windows Server 2012 5 Device CAL バンドル	PYBWCD05	1
		DCAL10	Windows Server 2012 10 Device CAL バンドル	PYBWCD10	4
		DCAL50	Windows Server 2012 50 Device CAL バンドル	PYBWCD50	10
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2012 1 User CAL	PYBWCU012	4
		UCAL5	Windows Server 2012 5 User CAL	PYBWCU052	1
		UCAL10	Windows Server 2012 10 User CAL	PYBWCU102	4
		UCAL50	Windows Server 2012 50 User CAL	PYBWCU502	10
	バンドル	RDSDCAL1	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWCD01R	4
		RDSDCAL5	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 5 Device CAL	PYBWCD05R	1
		RDSDCAL10	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 10 Device CAL	PYBWCD10R	4
		RDSDCAL50	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 50 Device CAL	PYBWCD50R	10
	バンドル	RDSUCAL1	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 1 User CAL	PYBWCU01R2	4
		RDSUCAL5	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 5 User CAL	PYBWCU05R2	1
		RDSUCAL10	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 10 User CAL	PYBWCU10R2	4
		RDSUCAL50	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 50 User CAL	PYBWCU50R2	10
	インストール	WS08RS(DG)	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPSD8	1
	バンドル	SQL2016(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2016 Standard バンドル	PYWBWL6	1
		SQL2014(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2014 Standard バンドル	PYWBWL4	1
		SQL 2016 DCAL1	Microsoft SQL Server 2016 1 Device CAL	PYBWCD01N	7
		SQL 2016 DCAL5	Microsoft SQL Server 2016 5 Device CAL	PYBWCD05N	
		SQL 2016 DCAL10	Microsoft SQL Server 2016 10 Device CAL	PYBWCD10N	
		SQL 2016 UCAL1	Microsoft SQL Server 2016 1 User CAL	PYBWCU01N	7
		SQL 2016 UCAL5	Microsoft SQL Server 2016 5 User CAL	PYBWCU05N	
		SQL 2016 UCAL10	Microsoft SQL Server 2016 10 User CAL	PYBWCU10N	
		SQL 2014 DCAL1	Microsoft SQL Server 2014 1 Device CAL	PYBWCD01M	4
		SQL 2014 DCAL5	Microsoft SQL Server 2014 5 Device CAL	PYBWCD05M	3
		SQL 2014 UCAL1	Microsoft SQL Server 2014 1 User CAL	PYBWCU01M	4
		SQL 2014 UCAL5	Microsoft SQL Server 2014 5 User CAL	PYBWCU05M	3
	バンドル (メディアオプション)	SQL2014	Microsoft SQL Server 2014 Standard メディアキット	PYWBWL43	1
		SQL2012	Microsoft SQL Server 2012 Standard メディアキット	PYWBWL23	1
		SQL2008R2	Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard メディアキット	PYWBWL8	1
	バンドル (メディアオプション)	WS12S	Windows Server 2012 Standard メディアキット	PYBWS22	1
		WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard メディアキットバンドル	PYBWS82	1
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise メディアキットバンドル	PYBWE82	1
	インストール	WS12RF	Windows Server 2012 R2 Foundation(1CPU) インストール	PYBWPF3	1
	バンドル	WS12RF	Windows Server 2012 R2 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWBF3	1
		WS12RE	Windows Server 2012 R2 Essentials バンドル	PYBWBB3	1
		WS12F	Windows Server 2012 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWBF2	1
		WS12E	Windows Server 2012 Essentials バンドル	PYBWBB2	1

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

略称			品名		型名	手配可能数		
Linux	バンドル	RHEL7	Red Hat Enterprise Linux 7.2 媒体バンドル		PYBLB72	1	2	5
			Red Hat Enterprise Linux 7.1 媒体バンドル		PYBLB71	1		
		RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.7 媒体バンドル		PYBLB67	1	2	
			Red Hat Enterprise Linux 6.6 媒体バンドル		PYBLB66	1		
		RHEL5	Red Hat Enterprise Linux 5.11 媒体バンドル		PYBLB55	1	1	
	サポート	RHEL 基本 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト		PYBSPR**02	1	1	
		RHEL 基本 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト		PYBSPK**02	1		
		RHEL VDC 基本	Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)		PYBSPD**03	1		
		RHEL 基本 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)		PYBSPN**02	1		
		RHEL 拡張 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト		PYBSPR5**E2	1		
		RHEL 拡張 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト		PYBSPK5**E2	1		
		RHEL VDC 拡張	Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)		PYBSPD5**E3	1		
	RHEL 拡張 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)		PYBSPN5**E2	1			
	VMware	バンドル	vS6S 1年平日	VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル (*2)		PYBVL6SD1	4	4 (*1)
			vS6S 1年24時間	VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル (*2)		PYBVL6SA1	4	
vS6E 1年平日			VMware vSphere 6 Enterprise, 1CPU 1年間平日サポートバンドル (*2)		PYBVL6ED1	4		
vS6E 1年24時間			VMware vSphere 6 Enterprise, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル (*2)		PYBVL6EA1	4		
vS6EP 1年平日			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル (*2)		PYBVL6PD1	4		
vS6EP 1年24時間			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル (*2)		PYBVL6PA1	4		
vS6S 1年平日			VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル (*3)		PYBVL6SD2	4		
vS6S 1年24時間			VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル (*3)		PYBVL6SA2	4		
OS管理ソフト等		vS6EP 1年平日	VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル (*3)		PYBVL6PD2	4		
		vS6EP 1年24時間	VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル (*3)		PYBVL6PA2	4		
		vCen6 1年平日	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間平日サポートバンドル (*2)		PYBVL6SD1	1	1	
		vCen6 1年24時間	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間24時間サポートバンドル (*2)		PYBVL6SA1	1		
		vCen6 1年平日	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間平日サポートバンドル (*3)		PYBVL6SD2	1		
		vCen6 1年24時間	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間24時間サポートバンドル (*3)		PYBVL6SA2	1		
		vS6 UFM6.0	VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュール(4GB)		PYBUFV62	1	1	
VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュール(8GB)			PYBUFV61	1				
VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュール(8GB)			PYBUFV63	1				

(*1) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

(*2) 2016年6月23日販売終息、2016年7月4日最終納品。

(*3) 2016年7月5日提供開始予定。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります
 (機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認の上、手配ください)。

■ Windows

OSオプション			Windows																	
			インストール							バンドル										
			WS12RS	WS12RS(Hyper-V)	WSS12RS	WS12S	WS12S(Hyper-V)	WS08RS(DG)	WS12RF	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12F	WS12E	WS12S Add	WS12D Add	WSS12RS Add
Windows	インストール	WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	
		WS12RS(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	
		WSS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	
		WS12S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	
		WS08RS(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		WS12RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WS12RD	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
		WS12RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
		WS12F	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S Add	○	○	x	○	○	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x
		WS12D Add	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x	x	x	x	x
		WSS12RS Add	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
		メディア キット	WS12S	○	○	x	x	x	x	x	○	○	x	x	x	x	x	x	○	○
	WS08RS		○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
	WS08RE		○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		UCAL1/5/10/50	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		RDSDCAL1/5/10/50	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		RDSUCAL1/5/10/50	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		SQL2016(サーバ/CAL)	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2014(サーバ/CAL)	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2014	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2012	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2008R2	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL 2016 DCAL1/5/10	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL 2016 UCAL1/5/10	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL 2014 DCAL1/5	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
		SQL 2014 UCAL1/5	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x
	Linux	バンドル	RHEL7.2 (*1)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○
RHEL7.1 (*1)			○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
RHEL6.7 (*1)			○	○	x	○	○	○	x	○(*2)	○(*2)	x	x	○(*2)	○(*2)	x	x	○	○	x
RHEL6.6 (*1)			○	○	x	○	○	○	x	○(*2)	○(*2)	x	x	○(*2)	○(*2)	x	x	○	○	x
RHEL5.11 (*1)			○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6S 1年24時間	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6E 1年平日	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6E 1年24時間	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6EP 1年平日	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6EP 1年24時間	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vCen6 1年24時間	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x
		vS6 UFM6.0	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x	x	○	○	x	x	○	○	x

○: 同時手配可、×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

OSオプション			Windows																	
			メディアキット			OS管理ソフト等														
			WS12S	WS08RS	WS08RE	DCAL 1/5/10/50	UCAL 1/5/10/50	RDSDCAL 1/5/10/50	RDSUCAL 1/5/10/50	SQL2016(サーバー/CAL)	SQL2014(サーバー/CAL)	SQL2014	SQL2012	SQL2008R2	SQL 2016 DCAL 1/5/10	SQL 2016 UCAL 1/5/10	SQL 2014 DCAL 1/5	SQL 2014 UCAL 1/5		
OSオプション Windows	インストール	WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS12RS(Hyper-V)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WSS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S(Hyper-V)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RS(DG)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	バンドル	WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RE	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSS12RS Add	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	メディア キット	WS12S	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RS	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RE	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OS管理 ソフト等	DCAL 1/5/10/50	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
		UCAL 1/5/10/50	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
		RDSDCAL 1/5/10/50	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
		RDSUCAL 1/5/10/50	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
		SQL2016(サーバー/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
		SQL2014(サーバー/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
		SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	
		SQL2012	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	
		SQL2008R2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
		SQL 2016 DCAL 1/5/10	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
		SQL 2016 UCAL 1/5/10	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
		SQL 2014 DCAL 1/5	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	
		SQL 2014 UCAL 1/5	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	
Linux	バンドル	RHEL7.2 (*1)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
RHEL7.1 (*1)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
RHEL6.7 (*1)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
RHEL6.6 (*1)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
RHEL5.11 (*1)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6S 1年24時間		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6E 1年平日		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6E 1年24時間		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6EP 1年平日		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6EP 1年24時間		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vCen6 1年24時間		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
vS6 UFM6.0		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

○: 同時手配可、×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

OSオプション			Linux					VMware						OS管理ソフト等				
			バンドル					バンドル										
			RHEL7.2 (*1)	RHEL7.1 (*1)	RHEL6.7 (*1)	RHEL6.6 (*1)	RHEL5.11 (*1)	vS6S 1年平日	vS6S 1年24時間	vS6E 1年平日	vS6E 1年24時間	vS6EP 1年平日	vS6EP 1年24時間	vCen6 1年平日	vCen6 1年24時間	vS6 UFM6.0		
OSオプション																		
	Windows	インストール	WS12RS	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
			WS12RS(Hyper-V)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
			WSS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			WS12S	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
			WS12S(Hyper-V)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
			WS08RS(DG)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
			WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	バンドル	WS12RS	○	○	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS12RD	○	○	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS12RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS12S	○	○	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS12D	○	○	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSS12RS Add	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	メディア キット	WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RDSDCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RDSUCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2016(サーバ/CAL)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL2014(サーバ/CAL)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL2014	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL2012	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL2008R2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL 2016 DCAL1/5/10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
SQL 2016 UCAL1/5/10		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
SQL 2014 DCAL1/5		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
SQL 2014 UCAL1/5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
Linux	バンドル	RHEL7.2 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		RHEL7.1 (*1)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		RHEL6.7 (*1)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		RHEL6.6 (*1)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		RHEL5.11 (*1)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○		
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○		
		vS6E 1年平日	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		
		vS6E 1年24時間	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○		
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○		
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○		
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○		
		vCen6 1年24時間	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○		
		vS6 UFM6.0	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

○：同時手配可、×：同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須。また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

(*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けする Windows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります（機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります）。

■ ハードウェア用SupportDesk

OSオプション			ハードウェア用SupportDesk														
			保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDesk/バック Standard/Standard24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック 保守交換ディスク引渡プラス/ 保守交換ディスク引渡プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS12RS	○			○			○			○			○		
		WS12RS(Hyper-V)	○			○			○			○			○		
		WSS12RS	○			○			○			○			○		
		WS12S	○			○			○			○			○		
		WS12S(Hyper-V)	○			○			○			○			○		
		WS08RS(DG)	○			○			○			○			○		
		WS12RF	○			○			○			○			○		
	バンドル	WS12RS	○			○			○			○			○		
		WS12RD	○			○			○			○			○		
		WS12RF	○			○			○			○			○		
		WS12RE	○			○			○			○			○		
		WS12S	○			○			○			○			○		
		WS12D	○			○			○			○			○		
		WS12F	○			○			○			○			○		
		WS12E	○			○			○			○			○		
		WS12S Add	○			○			○			○			○		
		WS12D Add	○			○			○			○			○		
		WSS12RS Add	○			○			○			○			○		
	メディア キット	WS12S	○			○			○			○			○		
		WS08RS	○			○			○			○			○		
		WS08RE	○			○			○			○			○		
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50	○			○			○			○			○		
		UCAL1/5/10/50	○			○			○			○			○		
		RSDCAL1/5/10/50	○			○			○			○			○		
		RDSUCAL1/5/10/50	○			○			○			○			○		
		SQL2016(サーバル/GAL)	○			○			○			○			○		
		SQL2014(サーバル/GAL)	○			○			○			○			○		
		SQL2014	○			○			○			○			○		
		SQL2012	○			○			○			○			○		
		SQL2008R2	○			○			○			○			○		
		SQL 2016 DCAL1/5/10	○			○			○			○			○		
		SQL 2016 UCAL1/5/10	○			○			○			○			○		
		SQL 2014 DCAL1/5	○			○			○			○			○		
		SQL 2014 UCAL1/5	○			○			○			○			○		
Linux	バンドル	RHEL7.2 (*1)	×			○			○			○			○		
		RHEL7.1 (*1)	×			○			○			○			○		
		RHEL6.7 (*1)	×			○			○			○			○		
		RHEL6.6 (*1)	×			○			○			○			○		
		RHEL5.11 (*1)	×			○			○			○			○		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6S 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6E 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6E 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vCen6 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
		vS6 UFM6.0	○			○			○			○			○		

○:同時手配可 ×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ OS用SupportDesk

SupportDesk			OS用SupportDesk																		
			SupoortDesk Standard/Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server 仮想化対応)			Support/Desk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/1ゲスト]				SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/4ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/ ゲスト無制限(ゲスト専用)]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2ゲスト(ゲスト専用)]		
OSオプション			3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS12RS	○			○			×				×			○			○		
		WS12RS(Hyper-V)	○			○			×				×			○			○		
		WSS12RS	○			○			×				×			×			×		
		WS12S	○			○			×				×			○			○		
		WS12S(Hyper-V)	○			○			×				×			○			○		
		WS08RS(DG)	○			○			×				×			○			○		
		WS12RF	×			×			×				×			×			×		
	バンドル	WS12RS	○			○			○				○			○			○		
		WS12RD	×			○			○				○			○			○		
		WS12RF	×			×			×				×			×			×		
		WS12RE	×			×			×				×			×			×		
		WS12S	○			○			○				○			○			○		
		WS12D	×			○			○				○			○			○		
		WS12F	×			×			×				×			×			×		
		WS12E	×			×			×				×			×			×		
		WS12S Add	○			○			○				○			○			○		
		WS12D Add	×			○			○				○			○			○		
		WSS12RS Add	○			○			×				×			×			×		
	メディア キット	WS12S	○			○			○				○			○			○		
		WS08RS	○			○			○				○			○			○		
		WS08RE	×			○			○				○			○			○		
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50	○			○			○				○			○			○		
		UCAL1/5/10/50	○			○			○				○			○			○		
		RSDCAL1/5/10/50	○			○			○				○			○			○		
		RDSUCAL1/5/10/50	○			○			○				○			○			○		
		SQL2016(サーバ/CAL)	○			○			×				×			×			×		
		SQL2014(サーバ/CAL)	○			○			×				×			×			×		
		SQL2014	○			○			×				×			×			×		
		SQL2012	○			○			×				×			×			×		
		SQL2008R2	○			○			×				×			×			×		
		SQL 2016 DCAL1/5/10	○			○			×				×			×			×		
		SQL 2016 UCAL1/5/10	○			○			×				×			×			×		
		SQL 2014 DCAL1/5	○			○			×				×			×			×		
		SQL 2014 UCAL1/5	○			○			×				×			×			×		
Linux	バンドル	RHEL7.2 (*1)	×			○			○				○			○			○		
		RHEL7.1 (*1)	×			○			○				○			○			○		
		RHEL6.7 (*1)	×			○			○				○			○			○		
		RHEL6.6 (*1)	×			○			○				○			○			○		
		RHEL5.11 (*1)	×			○			○				○			○			○		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6S 1年24時間	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6E 1年平日	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6E 1年24時間	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年平日	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6EP 1年24時間	×			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
	OS管理 ソフト等	vCen6 1年平日	○(*2)			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vCen6 1年24時間	○(*2)			○(*2)			×				×			○(*2)			○(*2)		
		vS6 UFM6.0	×			○			×				×			○			○		

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

(*1) 本 OS オプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMware の OS オプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯の SupportDesk を選択した場合のみ同時手配可能

(*3) 拡張サポートは5年のみ

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)		
Linux用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年							○	○	○	x		
	3年	x			x			○	x	x			
	4年							x	○	x			
	5年							x	x	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	x			x			x			○	○	○
	3年										○	x	x
	4年										x	○	x
	5年										x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	x			x			○	x	x	x		
	4年							x	○	x			
	5年							x	x	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	x			x			x			○	x	x
	4年										x	○	x
	5年										x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x			x			○	x	x	x		
	4年							x	○	x			
	5年							x	x	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	x			x			x			○	x	x
	4年										x	○	x
	5年										x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	x			x			○	x	x	x		
	4年							x	○	x			
	5年							x	x	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	x			x			x			○	x	x
	4年										x	○	x
	5年										x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	x			x			x	x	○	x		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	x			x			x			x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	x			x			x	x	○	x		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	x			x			x			x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	x			x			x	x	○	x		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	x			x			x			x	x	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	x			x			x	x	○	x		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	x			x			x			x	x	○

○: 同時手配可 x: 同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ハードウェア用SupportDesk		SupportDeskバック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ (OSサポートなし)			SupportDeskバック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDeskバック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス (OSサポートなし)			SupportDeskバック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
OS用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	○	○	○	×			○	○	○	×		
	3年	○	×	×				○	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			○	○	○	×			○	○	○
	3年				○	×	×				○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×			○	×	×	×		
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			○	×	×	×			○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○	×			×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。
※各サーバにて使用可能なホストOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

- ・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「富士通がサポートする、ESX / ESXi 各バージョンのゲストOS」をご確認ください。
当社ホームページ(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>)をご参照ください。
- ・Hyper-VでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「当社サポート可能なゲストOS」をご確認ください。
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/2012hv/>)をご参照ください。

ホストOS ゲストOS		WS08S/E/D-64 WS08RS/E/D	WS12S/D	WS12RS/D	RHEL5 (Intel64) (Xen) (※1)	RHEL6 (Intel64)(KVM)				RHEL7 (Intel64)(KVM)		VMware		
		Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	5.1～	～6.1	6.2/6.3	6.4	6.5/6.6/6.7	7.0/7.1	7.2	vS4	vS5	vS6
Windows	WS12RS	×	SPなし	SPなし	×	×			○(※8)	×	○(※8)(※9)	×	○	○
	WS12RD	×	SPなし	SPなし	×	×			○(※6)(※8)	×	○(※6)(※8)(※9)	×	○	○
	WS12RF	×	×	×	×	×				×		×	×	×
	WS12RE	×	SPなし	SPなし	×	×			○(※6)	×	○(※6)(※9)	×	×	×
	WS12S	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×	○(※8)			×	○(※8)(※9)	×	○	○
	WS12D	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×	○(※6)(※8)			×	○(※6)(※8)(※9)	×	○	○
	WS12F	×	×	×	×	×				×		×		×
	WS12E	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×	○(※6)			×	○(※6)(※9)	×		×
	WS08RS	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×	SP1 (※8)			×	SP1(※8)(※9)	○	○	
	WS08RE	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×	SP1 (※8)			×	SP1(※8)(※9)	○	○	
	WS08RD	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×	SP1 (※8)			×	SP1(※8)(※9)	○	○	
	WS08RF	×	×	×	×	×				×		×		×
	WS08S-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×	SP2			×	SP2(※9)	○	○	
	WS08E-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×	SP2 (※6)			×	SP2(※6)(※9)	○	○	
	WS08D-64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×	SP2 (※6)			×	SP2(※6)(※9)	○	○	
	WS08F-64	×	×	×	×	×				×		×		×
	WS08RW	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×	SP1			×	SP1(※9)	×		×
	WS08W-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×	SP2			×	SP2(※9)	×		×
	WS08RH	×	×	×	×	×	SP1			×	SP1(※9)	×		×
	WS08H-32	SP2 (※3)	×	×	×	×	SP2			×	SP2(※9)	×		×
	WS03RS/Sx64	×	×	×	×	×	SP2			×		○		○
	WS03RE/Ex64	×	×	×	×	×	SP2 (※6)			×		○		○
	WS03RD/Dx64	×	×	×	×	×	SP2 (※6)			×		×		×
	WS03S/Sx64	×	×	×	×	×	SP2			×		○		○
	WS03E/Ex64	×	×	×	×	×	SP2 (※6)			×		○		○
	WS03D/Dx64	×	×	×	×	×	SP2 (※6)			×		×		×
	WS03W-32	×	×	×	×	×	SP2			×		×		×
	WS00S/AS	×	×	×	×	×				×		×		×
	WSNT4S	×	×	×	×	×				×		×		×
	W10H	×	×	○	×	×				×		×	○	
	W10P	×	×	○	×	×				×		×		○
	W10EN	×	×	○	×	×				×		×		○
	W10ED	×	×	○	×	×				×		×		×
	W8.1	×	SPなし	SPなし	×	×				×		×	○	○
	W8.1P	×	SPなし	SPなし	×	×				×		×	○	○
	W8.1E	×	SPなし	SPなし	×	×				×		×	○	○
	W8	×	×	×	×	×				×		×	○	○
	W8P	×	×	×	×	×				×		×	○	○
	W8E	×	×	×	×	×				×		×	○	○
	W7HP	×	×	×	×	×				×		○		○
	W7P/E/U	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×				×		○		○
	WVHB/HP	×	×	×	×	×				×		○		○
	WVB/E/U	×	×	×	×	×				×		○		○
	WXPPx64	×	×	×	×	×				×		×		×
	WXPP	×	×	×	×	×				×		×		×
Linux	RHEL7(Intel64)	○ (※7)	○	○	×	○				○		×	○	○
	RHEL6(x86/Intel64)	6.4～ (※7)	6.4～	6.4～	×	○				○		○		○
	RHEL5(x86/Intel64)	5.9～ (※7)	5.9～	5.9～	～5.x (※5)	5.3～				5.3～		○		○
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	×	×	×	4.6～	4.8～				4.8～		4.3～	×	×
	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×	×	3.9～				×		×		×

○：サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×：サポート対象外を示す。

- (※1) ホストOS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用ください。
- (※2) ホストOSが Windows Server 2008 R2 の場合は、Hyper-V のゲストOSとして Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用いただく必要があります。
詳細はマイクロソフト社の情報をご確認ください。マイクロソフト社ホームページ(<http://support.microsoft.com/kb/2744129>)
ホストOSが Windows Server 2008 の場合は、Hyper-VのゲストOSとして Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用してもサポートされません
(サポート技術情報 KB2744129 に対する、マイクロソフト社の回答 (2013/12/5) に基づき記載)。
- (※3) 1,2,3,4CPUで動作可能となります。
- (※4) 1,2CPUで動作可能となります。
- (※5) ゲストOS版数は、ホストOS版数のマイナーバージョンまでとなります(例:ホストOSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です)。
- (※6) KVM上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。
- (※7) WS08S/E/D-64 を除く。
- (※8) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。
- (※9) 拡張バスサポートを契約している場合に限りです。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/note/ http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk(PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	DATテープ、データカートリッジ http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/products/supply/media/

PRIMERGY 留意事項編 更新履歴

版数	日付	更新箇所	更新内容
25版	2016/7/8		セキュリティチップの型名修正
24版	2016/6/7		6月エンハンス内容の反映
23版	2016/4/4		4月エンハンス内容の反映
22版	2015/12/22		12月エンハンス内容の反映
21版	2015/8/28		8月エンハンス内容の反映
20版	2015/7/3	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての注記追加
19版	2015/6/12	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての内容変更
		表「バックアップ装置関連事項」	Netvault Backup 8.5、8.5.2の削除 Backup Exec 15追加
		表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」	VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュールの型名修正
		表「各OSの仮想化機能について」	VMware vS6とRHEL5(x86/Intel64) の組合せを変更
18版	2015/5/7		5月エンハンス内容の反映
17版	2015/4/2		4月エンハンス内容の反映
16版	2015/2/12		2月エンハンス内容の反映
15版	2015/1/16		1月エンハンス内容の反映
14版	2014/12/9	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種にRX200 S8を追加
13版	2014/11/18		11月エンハンス内容の反映
12版	2014/9/9		9月エンハンス内容の反映
11版	2014/8/21		8月エンハンス内容の反映
10版	2014/7/22	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種からRX200 S8を削除
9版	2014/5/12		5月エンハンス内容の反映
8版	2014/1/9		1月エンハンス内容の反映
7版	2013/11/5		11月エンハンス内容の反映
6版	2013/9/11		9月エンハンス内容の反映
5版	2013/7/3	Windows関連事項	Windows関連事項の内容見直し
4版	2013/5/8	内蔵ストレージ関連事項	<構成規則について> の(5) の表に、SASアレイコントローラ拡張ボード[PYBSRD081A]を追加、およびSASアレイコントローラ拡張ボード[PY~SRD08]の記載位置を修正
3版	2013/4/23		4月エンハンス内容の反映
2版	2013/1/22		1月エンハンス内容の反映
初版	2012/10/17		新規作成